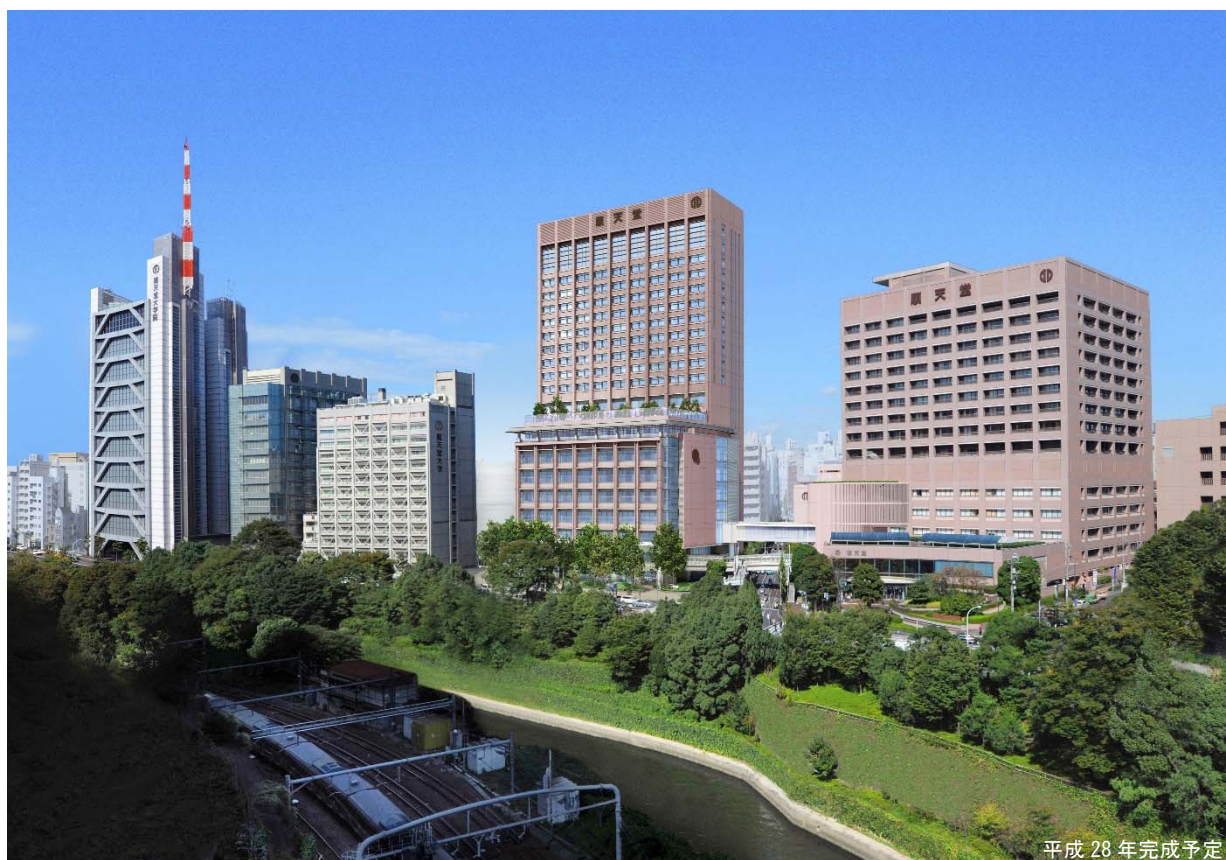


平成 25 年度 事業報告書

(平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで)



学校法人 順天堂



順天堂大学 4キャンパス6附属病院群



<http://www.juntendo.ac.jp/>



順天堂の「順天」は、中国の古典『易経』にある「順天応人」(天の意志に順い、人々の期待に応える)と、孟子の言葉の「順天者存。逆天者亡」(自然の摂理に順うものは存続して栄え、天の理法に逆らうものは亡びる)に由来します。



A 法人章



B 法人章

「意匠登録」：1996(平成8)年

A法人章：仁義礼智信…の“仁”をデザイン化したとされ、明治初期の順天堂医院診察券や薬袋、佐藤尚中の肖像や医専の校章に使用されています。

B法人章：佐藤の“サ”又はA 法人章を大学の“大”へデザイン化したとされています。<1957(昭和32)年制定>



平成21年6月に制定された「ロゴマーク」は、本学の式典旗、発行する印刷物、ホームページ、文具類等の物品、本学公認の学生サークルの団旗等に使用されます。



2013年 順天堂創立175周年記念

開塾：1838年（天保9年）

順天堂の沿革

順天堂は、天保9(1838)年、学祖・佐藤泰然が江戸・薬研堀(現在の東日本橋2-6-8)に設立したオランダ医学塾・和田塾に端を発し、いまに繋がる日本最古の西洋医学塾です。

幕末、攘夷・洋学排斥の動きもあり、江戸より下総佐倉(現在の千葉県佐倉市)に移った順天堂には、全国各地より百数十名を超える俊英が参集し、「日新の医学、佐倉の林中より生ず」といまに語り継がれるが如き、西洋医学研究・教育、そして臨床医学実践の場となりました。

順天堂第二代堂主・佐藤尚中は、明治2(1869)年、明治政府の要請を受け、佐倉より多数の門下生を率いて上京し、宮内省「大典医」(明治天皇の主治医団長)・文部省「大学大博士」第一号を拝命し、大学東校(現 東京大学医学部の前身)の初代校長として近代医学教育確立に尽力し、西洋医学教育最高学府(東京帝国大学医学部)の礎を固めました。順天堂堂主に帰任した佐藤尚中は佐藤進らと順天堂醫事研究会を設立し、医院と研究会を基盤に医師の育成を行いました。順天堂に学んだ者は医師開業試験を免除されました。済生学舎、済衆舎、博愛舎を始めとする多くの医学校の設立を助け、その学生及び卒業生(野口英世ら)は順天堂で臨床教育を受けました。これら医学校を母体として、日本医科大学、東京医科大学、東京女子医科大学など多くの大学が誕生していきます。

佐藤進は、明治2(1869)年、明治政府発行の旅券第一号をもってドイツに留学し、明治7(1874)年、アジア人として最初のベルリン大学医学部卒業生となりました。ドイツより帰国した佐藤進は、佐藤尚中と共に医師育成を続け、日本初の医学雑誌『順天堂醫事雑誌』を明治8(1875)年10月に発刊し、近代医学情報を日本全国に発信しました。また第三代堂主となった佐藤進は、順天堂医院長在任中に陸軍本病院長や日清・日露両戦役の陸軍軍医総監など国家枢要の職を兼任して国難に対峙しました。明治18(1885)年、順天堂医院長在任中に、東京大学医学部附属第一医院及び第二医院の院長、また大韓医院(現ソウル大学医学部)を設立、初代院長・医学部長をも兼任するなど、日本そしてアジアにおける西洋医学教育普及のリーダーとなりました。

第四代堂主(初代理事長)・佐藤達次郎は、順天堂醫事研究会を母体に医学専門学校を開設し、順天堂医科大学へと発展させ、昭和26(1951)年、体育学部(現在のスポーツ健康科学部)を東俊郎を初代学部長として併設し順天堂大学と致しました。

第五代堂主(理事長)・有山登は、大学・病院の施設設備を拡充・整備させ、昭和34(1959)年、大学院医学研究科・博士課程を開設し、昭和46(1971)年、大学院体育学研究科・修士課程(現在の大学院スポーツ健康科学研究科・博士前期課程)を開設しました。更に、昭和42(1967)年、順天堂第2番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属伊豆長岡病院(94床)(現在の静岡病院)」を開院し、順天堂大学の更なる発展をさせました。

第六代堂主(理事長)・東健彦は、昭和59(1984)年、順天堂第3番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属浦安病院(250床)」を開院しました。昭和61(1986)年、厳しい運営事情の中、順天堂創立150周年記念事業として、①医学部附属順天堂医院本館(新1号館)の建設、②体育学部新キャンパス移転、③順天堂高等看護専門学校を改組し、医療短期大学を設立し、その本郷より浦安市への移転を計画しました。

第七代堂主(理事長)・懸田克躬は、昭和63(1988)年、体育学部を習志野キャンパスからさ

くらキャンパス(現在の印西市)へ移転し、平成元(1989)年、順天堂医療短期大学を浦安キャンパスに完成させました。更に、財団法人順天堂精神医学研究所附属順天堂越谷病院を順天堂第4番目の医学部附属病院として「順天堂大学医学部附属越谷病院(221床)」に改組しました。

第八代堂主(理事長)・石井昌三は、平成5(1993)年、体育学部をスポーツ健康科学部へと改組しました。そして順天堂医院本館(1号館)を完成させ、これにより順天堂創立150周年記念事業が完結されました。この間、静岡病院の拡張・増床など、医学部附属病院としての機能充実をはかりました。

看護師養成の歴史も古く、明治29(1896)年、佐藤進は杉本かね[本邦初の看護婦取締(婦長)]を登用し、看護婦養成所を開設し、歴代堂主・理事長は講習所、看護学院、准看護婦学院、医学部附属高等看護婦学校、高等看護学校、看護専門学校、医療短期大学(3年制)へと発展させて参りました。

そして近年、第九代堂主(理事長)・小川秀興は、平成12(2000)年、学長就任を機として、当時の石井理事長の了承を得て、大学運営の抜本的改革を果すべく、全職域横断的“学長室委員会(現大学運営連絡協議会：運連協)”を設立し、“大学改革20のプロジェクト”を掲げ、次々と斬新的改革を提案・説明・実行していきました。平成16(2004)年、理事長就任後、この委員会はプロジェクトをその時代と状況に応じて変えつつ、大学運営連絡協議会と名前を改め、現在も継続しております。その結果、①平成12(2000)年、大学院スポーツ健康科学研究科・博士課程を開設し、②平成16(2004)年、医療短期大学(3年制)を廃し、順天堂大学第3の学部として4年制の医療看護学部(千葉県浦安市)が開設、拡充されました。更に、③平成19(2007)年、医療看護学部大学院医療看護学研究所・修士課程が開設され、④平成22(2010)年、第4の学部として保健看護学部(静岡県三島市)が開設されました。⑤平成25(2013)年には、海外からの留学生や国内の医学士以外の研究者の為に大学院医学研究科・修士課程が開設されました。⑥平成14(2002)年6月、東京都江東高齢者医療センターが開院し、平成16(2004)年4月より東京都から順天堂に運営移管され、順天堂第5番目の医学部附属病院「順天堂東京江東高齢者医療センター」となりました。

加えて、練馬区も病院誘致計画を進め、多数の応募医療機関の中から学校法人順天堂が選定され、⑦平成17(2005)年、順天堂第6番目の医学部附属病院「練馬病院」が開設されました。また、⑧大学内に文科省(文部省)などより認可を受け、(1)アトピー疾患研究センター、(2)疾患モデル研究センター、(3)老人性疾患病態・治療研究センター、(4)環境医学研究所、(5)感染制御科学研究センター、(6)スポーツ健康医科学研究所、(7)スポーツロジックセンター、(8)国際交流センターなどが設立されました。

順天堂は、平成12(2000)年、総病床数2,225床でありましたが、現在は総病床数3,199床となり、日本最大規模の大学附属6病院群を配置して強固なネットワークを形成しております。6病院は、先進医療、地域医療、救急医療、周産期医療、高齢者医療、精神医療、がん治療など、国民の医療ニーズに幅広く対応する高い専門性と、総合力に秀でた医育機関として、全国そして国際レベルでの病診・病病連携を強めております。

本学は「不断前進」の理念のもとに学是「仁」を大切にしながら、“今、ふたたび「仁」”を掲げ、4学部3研究科6附属病院からなる「健康総合大学・大学院大学」として教育・研究・医療を通じて国際レベルでの社会貢献と人材育成を進めております。

2014年5月15日(創立記念日)

学校法人 順 天 堂

理事長 小 川 秀 興



1. 法人の設置する学校

【順天堂大学】

研究科・学部名称		所在地	沿革
大学院	医学研究科	修士課程	平成24.11.大学院医学研究科（修士課程）設置認可。 平成25.4.同 開設。
		博士課程	昭和34.3.大学院医学研究科（博士課程）設置認可。 昭和34.4.同 開設。
	スポーツ健康科学研究科	博士前期課程	昭和46.3.大学院体育学研究科（修士課程）設置認可。 昭和46.4.同 開設。 平成9.4.大学院スポーツ健康科学研究科博士前期課程に改称。
		博士後期課程	平成11.12.大学院スポーツ健康科学研究科博士後期課程設置認可。 平成12.4.同 開設。
	医療看護学研究科	博士前期課程	平成18.11.大学院医療看護学研究科（修士課程）設置認可。 平成19.4.同 開設。 平成26.4.同 修士課程を博士前期課程に名称変更。
		博士後期課程	平成25.10.大学院医療看護学研究科（博士後期課程）設置認可。 平成26.4.同 開設。
学部	医学部 医学科	東京都文京区本郷2丁目1番1号	天保9年（1838年）西洋医学塾開塾。以降、江戸（薬研堀）から佐倉（千葉）、東京下谷練堀町、本郷湯島の順天堂醫院にて多くの西洋医学者を育成。 昭和18.12.（財）順天堂医学専門学校設立認可。 昭和21.5.（財）順天堂医科大学設置認可。 昭和26.2.（学）順天堂医科大学認可。 昭和26.6.順天堂大学体育学部Ⅱ類（医学進学コース）開設。 昭和27.2.新制順天堂大学医学部設置認可。 昭和27.4.順天堂大学医学部開設。
	スポーツ健康科学部 スポーツ科学科 スポーツマネジメント学科 健康学科	千葉県印西市平賀学園台1丁目1番地	昭和26.6.体育学部Ⅰ類（体育学専攻、健康教育学専攻）開設。 昭和46.1.体育学部（体育学科、健康学科）設置認可。 平成4.12.スポーツ健康科学部設置認可。 平成5.4.体育学部をスポーツ健康科学部へ改組。
			（看護教育沿革） 明治29.10.順天堂醫院看護婦講習所開設。 昭和29.4.順天堂大学医学部附属順天堂准看護婦学院設置。 昭和36.3.同高等看護婦学校開設。 昭和39.4.順天堂高等看護学校へ改組。 昭和51.11.順天堂看護専門学校へ名称変更。
	医療看護学部 看護学科	千葉県浦安市高洲2丁目5番1号	平成元.4.順天堂医療短期大学開設。 平成15.11.医療看護学部設置認可。 平成16.4.順天堂医療短期大学を順天堂大学医療看護学部へ改組。 平成19.6.同短期大学廃止。
	保健看護学部 看護学科	静岡県三島市大宮町3丁目7番33号	平成21.6.保健看護学部設置届出。 平成21.9.学部設置に伴う収容定員関係学則変更認可。 平成21.10.保健師看護師学校指定。 平成22.4.保健看護学部開設。

2. 医学部附属病院

病院名称	開設年月日	病床数	所在地
順天堂医院	明治 6. 2. 2	1,020 床	東京都文京区本郷3丁目1番3号
静岡病院	昭和 42. 4. 1	552 床	静岡県伊豆の国市長岡1129番地
浦安病院	昭和 59. 5. 15	653 床	千葉県浦安市富岡2丁目1番1号
順天堂越谷病院	平成 元. 4. 1	226 床	埼玉県越谷市袋山560番地
順天堂東京江東高齢者医療センター	平成 14. 6. 3	348 床	東京都江東区新砂3丁目3番20号
順天堂練馬病院	平成 17. 7. 1	400 床	東京都練馬区高野台3丁目1番10号
合計		3,199 床	

※病床数は平成25年3月31日現在の稼働数

3. 大学院附属研究センター及び大学附属研究センター

研究センター名称	センター長・所長	文部科学省私立大学研究設備等整備に係る事業	開設年月日(初代センター長)	所在地
研究基盤センター	新井 一	—	平成 15. 10. 1 (木南 英紀)	東京都文京区本郷 2丁目1番1号
アトピー疾患研究センター	奥村 康	学術フロンティア 推進事業	平成 10. 11. 19 (小川 秀興)	〃
老人性疾患病態・治療研究センター	内山 安男	ハイテク・リサーチ・ センター整備事業	平成 12. 3. 21 (水野 美邦)	〃
疾患モデル研究センター	新井 一	学術フロンティア 推進事業	平成 10. 11. 19 (小川 秀興)	〃
環境医学研究所	高森 建二	ハイテク・リサーチ・ センター整備事業	平成 14. 9. 19 (小川 秀興)	千葉県浦安市富岡 2丁目1番1号
スポーツロジックセンター	河盛 隆造	ハイテク・リサーチ・ センター整備事業	平成 19. 4. 24 (小川 秀興)	東京都文京区本郷 2丁目1番1号
感染制御科学研究センター	平松 啓一	21世紀COEプログラム	平成 15. 4. 1 (平松 啓一)	〃
スポーツ健康医科学研究所	木南 英紀	ハイテク・リサーチ・ センター整備事業	平成 17. 10. 1 (小川 秀興)	千葉県印西市 平賀学園台1丁目1番地
臨床研究センター	富野康日己	—	平成 20. 11. 1 (小川 秀興)	東京都文京区本郷 2丁目1番1号
国際交流センター	小川 秀興	—	平成 20. 11. 1 (小川 秀興)	〃

4. 法人の設置する大学院・大学の入学定員、学生数等
【順天堂大学】

(単位：名)

研究科・学部・学科名称	修業年限	入学定員	入学者※1	収容定員	在籍者※2・3								
					1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次			
大学院	医学研究科	修士課程	2年	20	31	20	31 (20)	平成 25 年度開設			-	-	
		博士課程	4年	120	121	420	481	120 (120)	135 (100)	113 (100)	113 (100)	-	-
	スポーツ健康 科学研究科	博士前期課程	2年	61	48	122	101	48 (61)	53 (61)	-	-	-	-
		博士後期課程	3年	10	8	30	24	8 (10)	9 (10)	7 (10)	-	-	-
	医療看護学研究科修士課程 ※4	2年	15	15	30	28	13 (15)	15 (15)	-	-	-	-	
大学院 計			226	223	622	665	220 (226)	212 (186)	120 (110)	113 (100)	-	-	
学部	医学部 医学科	6年	124	127	684	687	128 (124)	120 (121)	124 (120)	106 (119)	115 (110)	94 (90)	
	スポーツ健康科学部			330	330	1,320	1,310	330 (330)	327 (330)	326 (330)	327 (330)	-	-
		スポーツ科学科	4年	190	190	760	756	190 (190)	189 (190)	187 (190)	190 (190)	-	-
		スポーツマネジメント学科	4年	70	70	280	274	70 (70)	69 (70)	69 (70)	66 (70)	-	-
		健康学科	4年	70	70	280	280	70 (70)	69 (70)	70 (70)	71 (70)	-	-
	医療看護学部 看護学科	4年	200	203	800	796	204 (200)	200 (200)	198 (200)	194 (200)	-	-	
	保健看護学部 看護学科	4年	120	123	480	480	123 (120)	123 (120)	119 (120)	115 (120)	-	-	
学部 計			774	783	3,284	3,273	785 (774)	770 (771)	767 (770)	742 (769)	115 (110)	94 (90)	

※1. 入学者欄は平成 25 年 4 月に入学した学生数

※3. 在籍者欄下段は、該当年次入学時の入学定員数

※2. 在籍者欄は平成 26 年 3 月 31 日における学生数

※4. 大学院医療看護学研究科博士後期課程平成 26 年度開設

5. 役員

区分	氏名	主な役職
理事長	小川 秀興	
理事	木南 英紀	順天堂大学学長
	新井 一	〃 医学部長、大学院医学研究科長
	野川 春夫	〃 スポーツ健康科学部長
	岡田 隆夫	〃 医療看護学部長
	高崎 芳成	〃 医学部附属順天堂医院長
	三橋 直樹	〃 静岡病院長
	吉田 幸洋	〃 浦安病院長
	津田 裕士	〃 順天堂東京江東高齢者医療センター院長
	児島 邦明	〃 練馬病院長
	稲富 恵子	〃 保健看護学部長
	前田 稔	〃 医学部附属静岡病院名誉院長
	宮野 武	〃 練馬病院名誉院長
	高森 建二	〃 大学院医学研究科環境医学研究所長
	多田 宏	非常勤
	佐藤 信紘	順天堂大学特任教授、名誉教授
梁井 皎	〃	
監事	辛島 睦	非常勤
	濱本 英輔	非常勤

6. 評議員

<選任条項順に記載>

児島 邦明	吉田 幸洋	代田 浩之	稲田 英一	北村 薫	野村志保子
青木きよ子	細谷 芳三	照沼 則子	高森 建二	富野康日己	森近 浩
中澤 真逸	土屋 清子	佐藤 潔	伊藤 政男	小川 秀興	木南 英紀
新井 一	野川 春夫	岡田 隆夫	梁井 皎	多田 宏	佐藤 信紘
稲富 恵子	高崎 芳成	前田 稔	宮野 武	新井 平伊	石館 敬三
三橋 直樹	津田 裕士	津村 秀憲	奥村 康	河盛 隆造	澤木 啓祐

(計 36名)

7. 研究科・学部一覧

	研究科・学部・学科名称	取得学位	研究科長・学部長・学科長
大学院	医学研究科	修士 (医科学) 博士 (医学)	新井 一
	スポーツ健康科学研究科	修士 (スポーツ健康科学) 博士 (")	北村 薫
	医療看護学研究科	修士 (看護学)	青木 きよ子
学部	医学部 医学科	学士 (医学)	新井 一
	スポーツ健康科学部	学士 (学位名は下記のとおり)	野川 春夫 島内 憲夫 (副学部長)
	スポーツ科学科	学士 (スポーツ科学)	櫻庭 景植
	スポーツマネジメント学科	学士 (スポーツマネジメント学)	小笠原 悦子
	健康学科	学士 (健康学)	下村 義夫
	医療看護学部 看護学科	学士 (看護学)	岡田 隆夫
保健看護学部 看護学科	学士 (看護学)	稲富 恵子	

8. 教職員数
(1) 教員数

(平成 26 年 3 月 31 日現在)

(単位：名)

学長
1

	教授	先任准教授	准教授	講師	助教	助手	常勤計	非常勤	計
大 学 院	144	16	41	1	47	2	251	143	394
(内訳)									
医学研究科	118	10	39	1	47	2	217	100	317
体育健康科学研究科	16	6	0	0	0	0	22	17	39
医療看護学研究科	10	0	2	0	0	0	12	26	38
学 部	38	107	286	27	358	350	1,166	2,671	3,837
(内訳)									
医学部	18	84	261	12	321	344	1,040	2,415	3,455
スポーツ健康科学部	5	19	4	0	9	5	42	161	203
医療看護学部	3	3	16	9	20	0	51	55	106
保健看護学部	12	1	5	6	8	1	33	40	73
合 計	182	123	327	28	405	352	1,417	2,814	4,231

※上記内、併任教員数

教員数合計 (本務・併任合計)

	教授	准教授	講師	助教	計
大学院本務教員 内学部併任教員	130	49	0	36	215
学部本務教員内 大学院併任教員	10	316	4	11	341

	教員数
大学院	735
学 部	4,052

(2) 職員数

事務職	技術職	医療職	教務職	その他	計
586	11	3,747	36	150	4,530

教職員合計
8,762

<参考：平成 25 年度臨床研修医受入数 (括弧内は平成 25 年度新規受入数)>

順天堂医院	静岡病院	浦安病院	順天堂練馬病院	計
95 (40)	23 (13)	58 (33)	56 (29)	232 (115)

9. 研究費・補助金

(1) 公的研究費補助金

① 文部科学省・(独) 日本学術振興会：科学研究費補助金

研究種目名	新規・継続	採択件数 (件)		直接経費 (千円)		間接経費 (千円)
新学術領域研究	新規	4	10	28,500	122,500	36,750
	継続	6		94,000		
基盤研究 (A) (一般)	新規	1	1	14,700	14,700	4,410
	継続	0		0		
基盤研究 (B) (一般)	新規	1	12	2,000	44,400	13,320
	継続	11		42,400		
基盤研究 (B) (海外)	新規	0	3	0	9,200	2,760
	継続	3		9,200		
基盤研究 (C) (一般)	新規	64	190	95,000	221,700	66,510
	継続	126		126,700		
挑戦的萌芽研究	新規	17	32	22,500	36,900	11,070
	継続	15		14,400		
若手研究 (S)	新規	0	1	0	9,000	2,700
	継続	1		9,000		
若手研究 (A)	新規	0	2	0	6,800	2,040
	継続	2		6,800		
若手研究 (B)	新規	43	100	65,200	121,100	36,330
	継続	57		55,900		
特別研究員奨励費	新規	10	11	11,000	11,600	0
	継続	1		600		
研究活動スタート支援	新規	3	6	3,300	6,000	1,800
	継続	3		2,700		
合 計	新規	143	368	242,200	603,900	177,690
	継続	225		361,700		

② 文部科学省：研究拠点形成費等補助金

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
がんプロフェSSIONナル養成基盤推進プラン	1	141,000	

③ 文部科学省：大学改革推進等補助金

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
大学病院における医師等の勤務環境改善のための人員の雇用	1	30,450	
基礎・臨床を両輪とした医学教育改革によるグローバルな医師養成	1	19,000	
合 計	2	49,450	

④ 文部科学省：科学技術人材育成費補助金

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
女性研究者研究活動支援事業	1	21,991	

⑤ 文部科学省：戦略的研究基盤形成支援事業

研究期間	研究代表者	プロジェクト名
平成 25 年度～ 平成 29 年度	環境医学研究所 高森建二 所長 (特任教授)	難治性“かゆみ”の発症機構解明と予防・ 治療法開発の研究基盤構築
平成 24 年度～ 平成 28 年度	感染制御科学研究センター 平松啓一 センター長 (教授)	薬剤耐性感染症の予防・治療のための新技 術開発に向けた研究基盤推進
平成 23 年度～ 平成 27 年度	老人性疾患病態・治療研究センター 服部信孝 副センター長 (教授)	細胞・脳機能研究の融合による神経疾患診 断・治療法開発拠点の形成
平成 23 年度～ 平成 27 年度	アトピー疾患研究センター 池田志孝 副センター長 (教授)	“バリア”に着目したアレルギー疾患の病 態解明と治療のための研究拠点の形成
平成 23 年度～ 平成 27 年度	スポーツ健康医科学研究所 木南英紀 センター長 (学長)	子どもの健康づくりのためのスポーツ医 科学研究拠点の形成

⑥ (独) 日本学術振興会：先端研究助成基金助成金 (最先端・次世代研究開発支援プログラム)

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
糖尿病性潰瘍に対するハイブリッド型生体外増幅血 管内皮前駆細胞による新しい血管再生治療の開発	1	※154,700	※ 決定額は H22年度より 4年間合計額

⑦ 厚生労働省：厚生労働科学研究費補助金

種 目 名	採択件数 (件)	直接経費 (千円)	間接経費 (千円)
地球規模保健課題推進研究事業	1	3,900	1,148
創薬基盤推進研究事業	1	28,500	8,550
障害者対策総合研究事業	1	2,086	625
難治性疾患等克服研究事業	4	49,939	14,981
新型インフルエンザ等新興・再興感染症研究事業	1	3,847	1,153
労働安全衛生総合研究事業	1	4,800	0
合 計	9	93,072	26,457

(2) 委託費

① 文部科学省：科学技術試験研究委託事業

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
オーダーメイド医療実現化プロジェクト	1	85,000	
オーダーメイド医療実現化プロジェクト(4領域研究)	1	1,500	
次世代がん研究戦略推進プロジェクト	1	2,800	
合 計	3	89,300	

② (独) 科学技術振興機構：戦略的国際科学技術協力推進事業

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
日本(JST)ースイス (ETHZ) 研究交流	1	6,500	

③ (独) 科学技術振興機構：戦略的創造研究推進事業

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
個人型研究 (さきがけ)	1	21,125	
チーム型研究 (CREST)	1	13,585	
合 計	2	34,710	

④ (独) 日本学術振興会：二国間交流事業共同研究

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
アルツハイマー病の画期的予防・治療法の開発	1	1,490	

⑤ 文部科学省・(独) 日本学術振興会：研究成果展開事業

種 目 名	採択件数 (件)	決定額 (千円)	備 考
センター・オブ・イノベーション (COI) プログラムCOI-T	1	20,000	

10. 寄付講座

寄付講座名	寄付者	責任者等
プロバイオティクス研究 (ヤクルト) 講座	(株)ヤクルト本社	特任教授 山城雄一郎
先進糖尿病治療学講座	武田薬品工業(株)	医学研究科 代謝内分泌内科学 教授 綿田 裕孝
漢方医学先端臨床センター	(株)ツムラ	医学研究科 病院管理学 教授 小林 弘幸
加齢制御医学講座	ロート製薬(株)、新日本製薬(株) (株)山田養蜂場本社	医学研究科 免疫学 教授 三宅 幸子
イーライリリー 「膵再生医学講座」	日本イーライリリー(株)	医学研究科 代謝内分泌内科学 教授 綿田 裕孝
認知症診断・予防・治療学講座	ヤンセンファーマ(株)、エーザイ(株) 他1社(非公開)	医学研究科 神経学 教授 服部 信孝
神経変性疾患病態治療 探索講座	大日本住友製薬(株)	医学研究科 神経学 教授 服部 信孝
分子糖尿病制御医学講座	MSD(株)	医学研究科 代謝内分泌内科学 教授 綿田 裕孝
地域総合診療研究講座 (越谷市)	埼玉県越谷市	医学研究科長 新井 一
免疫病・がん先端治療学講座	キッセイ薬品工業(株)	医学研究科長 新井 一
循環呼吸睡眠医学講座 (睡眠時無呼吸症センター)	フィリップス・レスピロニクス(同) 帝人在宅医療(株) フクダライフテック(株)	医学研究科 循環器内科学 教授 代田 浩之
運動障害疾患病態研究・ 治療講座	ノバルティスファーマ(株) 日本ベーリンガーインゲルハイム(株) グラクソスミスクライン(株) 日本メドトロニック(株) 協和発酵キリン(株) キッセイ薬品工業(株)	医学研究科 神経学 教授 服部 信孝
脳神経血管内治療学講座	ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) 日本ストライカー(株) テルモ(株) (株)カネカ	医学研究科 脳神経外科学 教授 新井 一
神経疾患病態構造学講座	マイクロダイアグノスティック(株)	特任教授 内山 安男
慢性腎臓病 (CKD) 集学的治療 研究講座	ノバルティスファーマ(株) 協和発酵キリン(株) 興和(株) 田辺三菱製薬(株)	医学研究科 腎臓内科学 教授 富野康日己
パーキンソン病病態解明研究 講座	大塚製薬(株)	医学研究科 神経学 教授 服部 信孝

※責任者等の職制は、平成26年3月31日の現職を記載



11. 授業料・入学金等学生が納付する金額

大学院・学部		入学金※1	授業料	施設設備費	実験実習費	教育充実費	初年度合計	入学試験検定料	
大学院	医学研究科	博士課程	200,000	400,000	-	150,000	-	750,000	20,000
		修士課程	200,000	400,000	150,000	-	-	750,000	20,000
	スポーツ健康科学研究科		200,000	550,000	-	50,000	-	800,000	30,000
	医療看護学研究科		200,000	550,000	-	50,000	-	800,000	30,000
学部	医学部	1年次	2,000,000	700,000	200,000	-	-	2,900,000	※2 参照
		2年次以降	-	2,000,000	860,000	-	720,000	3,580,000	-
	スポーツ健康科学部※3		200,000	700,000	300,000	-	150,000	1,350,000	※2 参照
	医療看護学部		300,000	900,000	300,000	350,000 ※4	-	1,850,000	※2 参照
	保健看護学部		300,000	900,000	300,000	350,000	-	1,850,000	※2 参照

※1 入学時のみ

※2 試験形態毎の入学検定料

学部	試験形態	入学検定料
医学部	一般	60,000
	地域枠	
	センター・一般独自併用	
	センター利用	40,000
	国際臨床医・研究医枠	
スポーツ健康科学部	AO	35,000
	推薦	
	一般(1学科)	50,000
	”(2学科)	65,000
	”(3学科)	75,000
	センター+一般同時出願(1学科)	55,000
	”(2学科)	65,000
	”(3学科)	75,000
	センター利用①センター利用	20,000
” ②一般併用、③面接、④競技歴	各30,000	

学部	試験形態	入学検定料
医療看護学部	推薦	30,000
	一般	35,000
	センター利用	25,000
	併願(一般、センター独自併用)	55,000
	”(一般、センター利用)	
	”(センター利用、センター独自併用)	
”(一般、センター利用、センター・独自併用)	70,000	
保健看護学部	推薦	30,000
	一般	25,000
	センター利用	
	併願(一般、センター利用)	50,000
	併願(一般、センター利用、センター独自併用Aコース)	65,000
	センター・独自併用Bコース、Cコース	50,000

※3 平成25年度スポーツ健康科学部入学者より引き下げを行いました

※4 4年次に助産学に関する実習を受講する場合には、実習費として別途350,000円を加算

12. 学位記授与数

※学位記授与数にて甲は課程修了者、乙は学位論文提出者

大学院医学研究科

(単位:名)

区分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員	80	80	80	100	
” 入学者数	109	110	120	120	
博士(医学)甲 学位記授与数	100	103	108	114	平成25年度 累計 《1,540》
満期退学後学位取得者数	0	1	1	0	
博士(医学)乙 学位記授与数	38	38	63	31	《2,296》

大学院スポーツ健康科学研究科

(単位:名)

区 分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員 (博士)	4	4	10	10	
〃 入学者数 (〃)	7	6	10	7	
博士 (スポーツ健康科学) 甲 学位記授与数	2	1	1	2	《23》
満期退学後学位取得者数	2	0	1	1	
博士 (スポーツ健康科学) 乙 学位記授与数	1	0	3	4	《10》
当該年度修了者の入学時入学定員 (修士)	61	61	61	61	
〃 入学者数 (〃)	63	66	57	53	
修士 (スポーツ健康科学) 学位記授与数	61	53	55	48	《818》

大学院医療看護学研究科

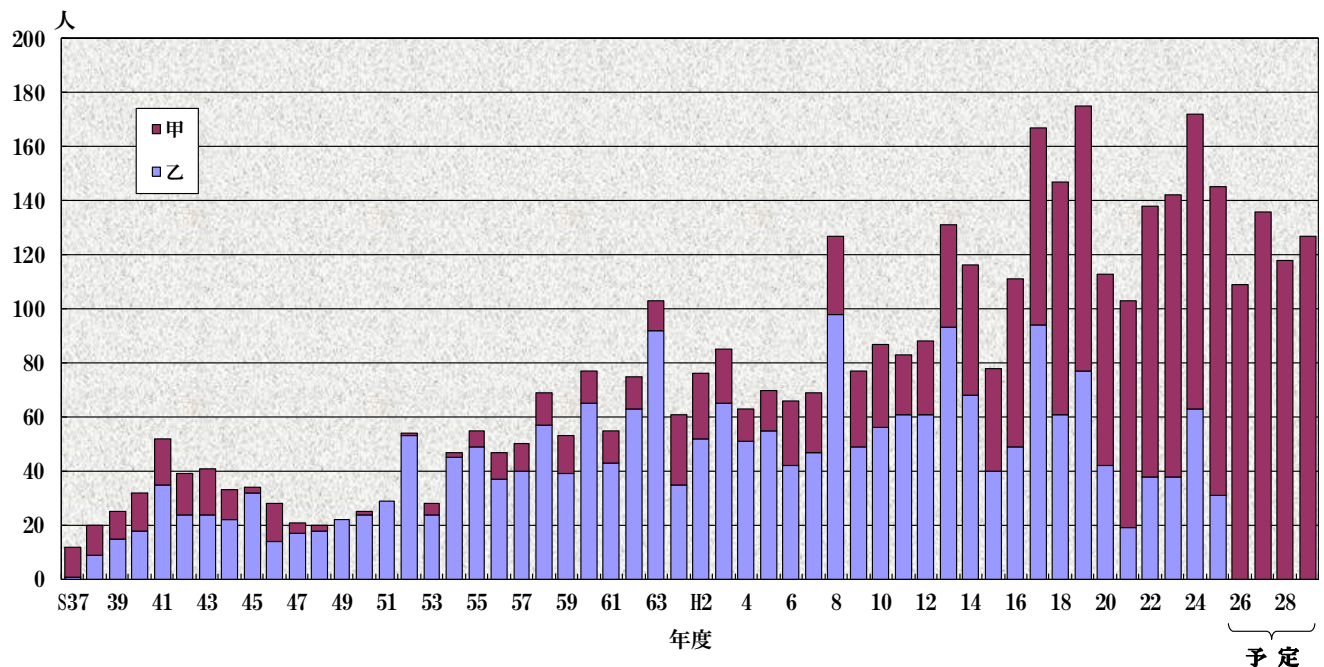
(単位:名)

区 分	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	備考《累計》
当該年度修了者の入学時入学定員	10	15	15	15	
〃 入学者数	15	17	14	17	
修士 (看護学) 学位記授与数	15	16	14	14	《93》

順天堂大学博士 (医学) 学位授与者数推移

平成26年 3月

甲 1,540号 乙 2,296号 (計:3,836号)



◎ 平成22~25年度学位取得者

甲論文 (英文88.5%) 平均IF ≒ 3.00

乙論文 (英文77.8%) 平均IF ≒ 3.06

◎ トムソン・ロイター (2008-2012年) 論文引用度指数

国公立大学の内 第19位

◎ S c o p u s (2009-2013年) 1論文当たり被引用数

〃 第12位



13. 学部卒業生数

(単位：名、括弧内()は女子学生数)

学部・学科名称	取得学位(学士)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	備考《累計》
医学部 医学科	医学	98 (29)	89 (28)	94 (28)	90 (33)	医専卒 《319》 医科大卒 《89》 学部卒 《4,538》 累計 《4,946》
スポーツ健康科学部		321 (112)	330 (111)	328 (107)	322 (107)	体育学部卒 《5,207》 スポーツ健康科学部卒 《5,642》 累計 《10,849》
スポーツ科学科	スポーツ科学	184 (55)	187 (54)	188 (53)	188 (53)	
スポーツマネジメント学科	スポーツマネジメント学	68 (28)	69 (27)	68 (26)	64 (25)	
健康学科	健康学	69 (29)	74 (30)	72 (28)	70 (29)	
医療看護学部 看護学科	看護学	192 (179)	196 (188)	211 (203)	194 (186)	講習所 《1,182》 看護学院 《29》 准看護婦学院 《132》 高等看護学校 《775》 看護専門学校 《1,194》 医療短期大学 《1,476》 医療看護学部 《1,198》 累計 《5,986》
保健看護学部 看護学科	看護学	-	-	-	114 (111)	保健看護学部 《114》

14. 卒業後の進路状況

※修了者には博士課程単位取得満期退学者を含む

大学院・学部		進路	人数	修了者数・卒業生数	
大学院	医学研究科 博士課程	大学・研究機関	102名	115名	
		医療機関	6名		
		民間企業	3名		
		その他	4名		
	スポーツ健康科学 研究科	博士 後期 課程	教員・研究機関	4名	5名
			就職(民間企業・公務員等)	1名	
		博士 前期 課程	教員・研究機関	17名	48名
			就職(民間企業・公務員等)	21名	
			進学 その他	7名 3名	
	医療看護学 研究科	大学病院等医療機関・保健医療機関	10名	14名	
教員・研究機関		2名			
進学		2名			
学部	医学部	初期臨床研修医(本学医学部附属病院群)	60名	90名	
		〃(他大学医学部附属病院群)	2名		
		〃(大学病院以外の臨床研修指定病院群)	28名		
	スポーツ健康科学部	教員・研究機関	100名	322名	
		就職(民間企業・公務員等)	168名		
		進学	44名		
		その他	10名		
	医療看護学部	本学医学部附属病院群	164名	194名	
		本学以外の医療機関	21名		
		進学	6名		
		その他	3名		
	保健看護学部	本学医学部附属病院群	81名	114名	
		本学以外の医療機関	29名		
		進学	3名		
その他		1名			

15. 公開講座

左欄：開催年月日

右欄：講座名・テーマ

[法人・大学]

25. 5. 18	第 330 回順天堂医学会学術集会「医学研究の UP-TO-DATE」
6. 15	第 32 回順天堂大学医学部主催・都民公開講座「アンチエイジング」
9. 12	第 331 回順天堂医学会学術集会「順天堂附属病院の災害への取り組み」
26. 2. 15	第 33 回順天堂大学医学部主催・都民公開講座「腸と健康」
3. 19	第 332 回順天堂医学会学術集会・教授定年退職記念講演会

[大学院医学研究科]

26. 2. 15	平成 24 年度文部科学省がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン採択事業 順天堂大学市民公開講座 「遺伝情報を知ってがんの予防ができる時代がやってくる？」
-----------	--

[順天堂医院]

25. 5. 25	第 11 回市民公開講座 「子宮頸がんは予防できる時代に」、「肺がんはここまで治る」
6. 13	第 9 回がん研修会 「粒子線治療の課題」、「前立腺癌の予防、早期診断と機能温存手術」
29	第 1 回緩和ケア研修会 「本郷地区がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」 (～30 日)
9. 28	第 2 回緩和ケア研修会 「本郷地区がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」 (～29 日)
10. 3	第 10 回がん研修会 「緩和ケアとがん疼痛治療の進歩」、「分子標的薬剤とバイオマーカー 概論」
5	第 3 回医療連携を共に考える会 「足立区医師会における医療連携の試み」、「オピオイド鎮痛薬の使い方」、 「肝胆膵疾患の外科治療」
12. 7	第 12 回市民公開講座 「肝がん予防のための医療の進歩」、「がんになった時の社会保障制度」
26. 3. 29	第 4 回医療連携を共に考える会 「台東区における在宅医療と医療連携－現状と今後の課題－」、 「肝胆膵の低侵襲治療－肝がんのラジオ波治療を中心に」、 「前立腺がんの予防と最新治療」

[静岡病院]

25. 6. 29	市民公開講座「糖尿病・メタボリックシンドロームとがん」 講演① 糖尿病・メタボリックシンドロームの方は「がん」になりやすい？ 講演② 糖尿病・メタボリックシンドローム改善の食事とは～食生活を見直してみましよう～
7. 4	第 23 回東部周産期研究会「前置胎盤の診断と管理」、 「交換輸血を行った血液型不適合例の検討」
9. 4	市民公開講座「鼻呼吸と腹式呼吸の重要性」
10. 24	第 24 回東部周産期研究会「当院における母体搬送の現状と症例の検討」 「先天性サイトメガロウイルス感染症一症例報告と最近の話題」
12. 13	市民公開講座「大災害に備える～災害時に医療が必要な方の心がまえ・備え～」
26. 2. 20	第 25 回東部周産期研究会「妊娠高血圧症候群の管理とその関連疾患」、 「当院における新生児仮死症例の検討」
3. 29	市民公開講座「肝臓は甦る」 講演① 肝臓の「がん」について語ろう 講演② アルコールと健康「酒飲みへの健康十訓」

[浦安病院]

25. 4. 17	第 35 回医療連携フォーラム 「炎症性腸疾患の診断・治療」、「地域連携を生かした膵癌早期発見の実践」
20	第 60 回市民公開講座「意外に身近な甲状腺の病気」
5. 18	第 61 回市民公開講座「肝炎ウイルスによる発がんをいかに防ぐか」
6. 1	第 62 回市民公開講座「中高年のための栄養の基礎知識」
26	第 36 回医療連携フォーラム 「器質性精神障害～見過ごされがちな頭蓋内疾患による精神症状～」、 「アルツハイマー病の最新治療」、「脳卒中の最新の治療と当院の取り組みについて」、 「ホットライン開始後の出血性脳卒中について」
7. 6	第 63 回市民公開講座「この検査で何がわかるの？」
9. 7	第 64 回市民公開講座「骨軟部腫瘍の診断と治療の実際」
18	第 37 回医療連携フォーラム 「骨軟部腫瘍の診断と治療」、「末梢動脈疾患のマネージメント」、 「大動脈瘤に対する最近のトピックス」
10. 19	第 65 回市民公開講座「お薬に関する正しい知識」
11. 20	第 38 回医療連携フォーラム 「脳梗塞と神経超音波」「当科で施行した自家末梢幹細胞移植と医科歯科連携」、 「R a p i d c a r の導入と今後の救急医療体制」、 「当院小児科におけるてんかん診療」
12. 5	地域医療セミナー「認知症について」
7	第 66 回市民公開講座 「乳がんの最近のトピックスと標準治療」 「家計にやさしいがん情報～医療費控除を学ぶ」
26. 2. 1	第 67 回市民公開講座「体験してみよう！心肺蘇生法」

26. 2. 19	第 39 回医療連携フォーラム 「喘息の吸入剤について～合剤の使用タイミング、使い分けについて～」、 「麻酔科学の進歩」、 「順天堂大学医学部附属浦安病院がん治療センターの 5 年間の歩み」
3. 1	第 68 回市民公開講座「爪のトラブルとその対処」「かゆい皮膚病のお話」

[順天堂越谷病院]

25. 4. 27	第 51 回順天堂越谷病院・(財) 順天堂精神医学研究所共催講演会 「刑事事件と精神医学」
7. 20	第 52 回順天堂越谷病院・(財) 順天堂精神医学研究所共催講演会 「発達障害のある児童生徒の健全な育成について」 －医療と教育の間で、発達障害のある子供たちは“今”－
11. 16	第 53 回順天堂越谷病院・(財) 順天堂精神医学研究所共催講演会 「働く人のメンタルヘルスと復職支援」－うつ回復の分かれ道－

[順天堂東京江東高齢者医療センター]

25. 4. 27	第 1 回区民健康講座「ペインクリニック（疼痛外来）で慢性痛を軽減しましょう！ ～漢方と西洋医学の両方で～」
5. 25	第 2 回区民健康講座「女性のヘルスケア ～更年期を中心に～」
6. 29	第 3 回区民健康講座「タバコによる肺の病気 ～COPD～」
7. 27	第 4 回区民健康講座「慢性胃炎とヘリコバクター・ピロリ菌」
9. 28	第 5 回区民健康講座「認知症を疑うとき ～物忘れだけじゃない認知症の症状～」
10. 19	第 6 回区民健康講座「高血圧と言われたら ～慢性腎臓病（CKD）との関係～」
11. 16	第 7 回区民健康講座「当院における大腸がん手術の現況」
12. 21	第 8 回区民健康講座「おしっこのこと、一人で悩んでいませんか？ ～過活動膀胱って何？～」

[順天堂練馬病院]

25. 4. 27	区民健康医学講座「リウマチなど関節痛に対しての痛み止めやステロイド剤の使い方」
5. 24	医療連携フォーラム「バンドルで考える SSI 予防と医療経済」
6. 22	区民健康医学講座「糖尿病の気があると言われたことはありませんか」
7. 18	医療連携フォーラム「ヨード造影剤の副作用について」
9. 19	医療連携フォーラム「乳がんの分子標的治療」
10. 29	区民健康医学講座「脳卒中 ―知っておきたい最新の知識―」※練馬区との共催
11. 16	区民健康医学講座「骨折を防ごう！骨粗しょう症の予防と治療」※練馬区との共催
12. 21	区民健康医学講座「消化器がん（胃がん・大腸がん）、乳がんの診断と治療の最前線」 ※練馬区との共催
26. 1. 16	医療連携フォーラム 「日常診療で白血球増加をみたら」「順天堂練馬病院 がん治療センターの役割」



26. 2. 22	区民健康医学講座「正しいですか？その薬の飲み方」
3. 20	医療連携フォーラム 「脳神経内科でよくみる症例の提示」「病院皮膚科における治療」

[さくらキャンパス]

25. 10. 20	生涯学習公開講座「レクリエーション教室」
11. 17	生涯学習公開講座「陸上教室（俊足プログラム）」
24	生涯学習公開講座「サッカー教室」
26	順天堂大学公開講座兼（財）日本体育施設協会認定 体育施設運営士養成講習会・資格認定試験（～29日迄）
26. 1. 13	第10回順天堂大学 国際シンポジウム「女子アスリートの競技力向上を目指して」
3. 26	浦安市公開講座「なわとび教室」

[浦安キャンパス]

25. 11. 16	第22回順天堂大学医療看護学部公開講座（浦安市、浦安市教育委員会後援） 「運動って楽しいね-親子で運動の楽しさを見つけよう-」 参加者 87名（うち子供 39名）
------------	---

[三島キャンパス]

26. 3. 16	第4回順天堂大学保健看護学部公開講座 「知って得する！メンタルヘルス講座～ストレス対処力（SOC）を高めるために～」
-----------	---

[国際交流センター]

25. 11. 20	第4回アジア太平洋メディカルフォーラム 「海外実習を考える－国際化する医学・医療における意義」
------------	--

[男女共同参画推進室]

26. 3. 15	第3回順天堂大学女性研究者研究活動支援事業シンポジウム 「次世代に輝き、社会をリードする女性研究者となるために」
-----------	---

16. 社会貢献・地域交流・ボランティア活動

左欄：開催年月日

右欄：活動名

[本郷・お茶の水キャンパス]

25. 4. 14	順天堂交響楽団定期演奏会 文京シビックホール
7. 18	医学部山岳部 夏山診療活動 長野県北アルプス燕岳燕山荘（～8月25日）

[順天堂医院]

25. 9. 7	文京区心身障害者レクリエーション看護師派遣（9月10日、9月12日）
13	文京区主催障害者就労講演会講師派遣（文京シビックホール26階スカイホール）
10. 26	東京都看護協会主催「子育て支援協力員」の看護師派遣（11月23日、12月28日、2月22日）
28	御蔵島村巡回診療看護師派遣

[静岡病院]

25. 5. 10	ふれあい看護体験（静岡県看護協会主催、一般市民対象1名参加）
8. 20	高校生1日ナース体験（66名参加）（～21日）
10. 18	中学生職場体験（伊豆の国市立葦山中学校3名参加）

[順天堂東京江東高齢者医療センター]

26. 1. 21	中学生職場体験（看護・リハビリ）（学校法人中村学園中村中学校3名参加）
28	中学生職場体験（看護・リハビリ）（江東区立第3砂町中学校3名参加）

[順天堂練馬病院]

25. 6. 4	中学生職場体験（愛知県豊川市立南部中学校3名参加）
7. 23	東京都ナースプラザ主催1日看護体験（6名参加） （他7月30日、8月2日の3日間開催）
8. 10	C-cubeプロジェクト（練馬区南田中小学校・石神井東小学校32名参加）
10. 8	病院見学（練馬区立石神井東小学校10名参加）
24	病院見学（岩手県盛岡市立松園中学校3名参加）

[さくらキャンパス]

25. 4. 13	順天堂大学陸上競技記録会（中学生から一般、4月から3月まで全8回開催）
14	順天堂大学体操教室 （4月から3月までの毎週日曜日開催、（但し夏期休暇期間、年末年始を除く）
16	順天堂大学バレーボール教室 （4月から1月までの毎週火曜日開催、（但し夏期休暇期間、年末年始を除く）
5. 1	印西市立平賀小学校1年生歓迎遠足



25. 5. 30	東日本大震災被災地ボランティア活動（宮城県仙台市石巻）（～6月2日）
6. 7	第65回啓心寮寮祭（～9日）
7. 3	白井市民大学講座 健康社会学ゼミナール学生と市民大学受講生との交流

[浦安キャンパス]

25. 6. 10	自転車無盗難推進キャンペーン 浦安市学生防犯委員会 V5 に参加
7. 16	夏季防犯キャンペーン・市内一斉防犯パトロール 浦安市学生防犯委員会 V5 に参加
8. 23	うらやすこども大学 市内在住の小学 4～6 年生 91 名に「人体の不思議」をテーマに生理学と助産学を講義
28	福島でのディベアクリニックサークル活動 被災地ボランティア「遊びの教室」
10. 3	浦安市立高洲北小学校 2 年生の「高洲の町探検」 課外授業で医療看護学部見学
19	第 24 回順華祭「We' re ALL in This Together」（～20 日）
30	高洲北小学校地区児童育成クラブ（学童保育）との交流活動（ハロウィン仮装をした子供たちによるキャンパス訪問）
11. 9	2013 認知症メモリーウォーク・千葉 in 浦安に参加
21	自転車盗難防止キャンペーン 浦安市学生防犯委員会 V5 に参加
12. 11	歳末特別警戒活動・冬の交通安全運動合同キャンペーン浦安市学生防犯委員会 V5 に参加

[三島キャンパス]

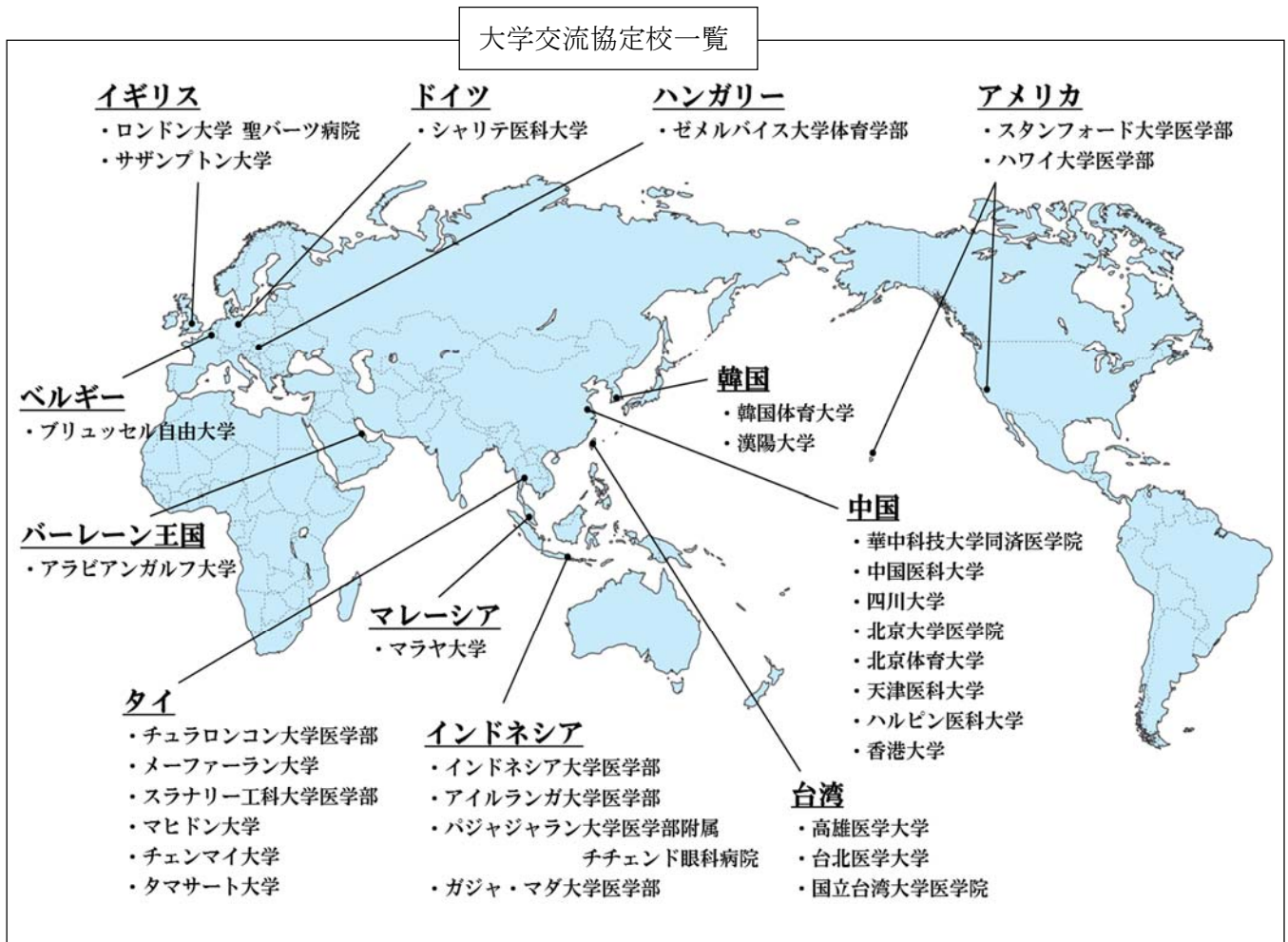
25. 4. 28	25 年度第 1 回大場川クリーン活動（リバーフレンドシップ制度に基づく学生ボランティア活動、25 年度は 6 回実施）
8. 24	フェスタ菰池（学生有志による出店）
9. 13	三島市「自殺予防週間」キャンペーン協力（三島駅前での呼びかけ）
10. 26	第 4 回順咲祭「轍 ～奏でてきた音の道～」（～27 日） 地元住民が多数参加。三島市障がい者支援センターの自主生産品販売ブース設置。
11. 17	三島市大宮町 3 丁目子供会（子供は地域の宝事業における施設利用協力）
12. 7	キャンドルナイト三島（温暖化防止イベントでの学生有志及び吹奏楽部の活動）
26. 1. 30	大学講義（演習）への教育ボランティア参加（公衆衛生看護学の学習機会に地元大宮町の方々が参加し、感想・意見を述べる）
その他の活動	三島市教育委員会「みしま教養セミナー」講師派遣 三島市高齢者福祉及び介護保険運営懇話会委員派遣 三島警察署協議会委員派遣 三島市と大学生によるスマートフォン用アプリ共同開発に参加（市民の健康づくりと地域の活性化を目指したアプリの開発） 三島市「ガーデンシティみしま推進会」参画 地元住民の早朝ウォーキング、休日テニスなどの施設貸出 学校見学受入れ（静岡県立松崎高校、静岡県御殿場市立中学校）

17. 国際交流活動

平成 25 年度は教育・研究を通じた様々な国際的な取り組みが行われました。

【 大学交流協定について 】

今年度は新たにブリュッセル自由大学（ベルギー・スポーツ健康科学部）と大学交流協定を結び、交流協定締結校は世界 12 カ国、合計 32 校となりました。



【 留学生の研修・交流活動について 】

留学生の受け入れは、31ヶ国・地域、195名でした。留学生同士の交流も積極的に行っております。今年度は、平成 25 年 10 月 9 日、順天堂大学センチュリータワーにおいて、東京医科歯科大学の留学生・教職員をご招待して留学生交流会を開催しました。当日は留学生だけでなく日本人学生も参加し、普段あまり接することのない留学生との交流を楽しみました。小川秀興理事長・東京医科歯科大学大野喜久郎理事による開会のご挨拶の後、順天堂大学ジャズ部による生演奏を楽しみながらの食事・歓談となりました。途中、留学生による日本語 30 秒スピーチ、日本人学生による英語 30 秒スピーチが行われ、様々なトピックでの発表に会場は大いに盛り上がりました。

(海外留学生等国別受入れ状況)

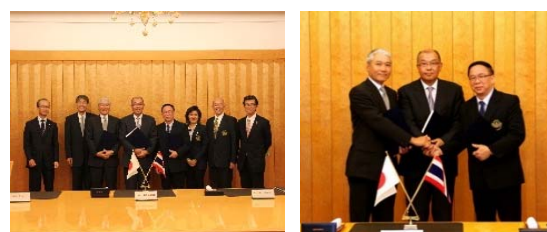
国名／地域名	人数	国名／地域名	人数	国名／地域名	人数
中国	74人	アメリカ	2人	スイス	1人
台湾	44人	マレーシア	2人	パラグアイ	1人
インドネシア	15人	ミャンマー	2人	グアテマラ	1人
韓国	9人	シンガポール	1人	ネパール	1人
タイ	7人	オーストラリア	1人	スウェーデン	1人
イギリス	5人	ベトナム	1人	グルジア	1人
ドイツ	5人	インド	1人	セネガル	1人
エジプト	4人	ニュージーランド	1人	サウジアラビア	1人
フランス	3人	イタリア	1人	スペイン	1人
イラン	3人	コンゴ	1人		
バングラデシュ	3人	フィリピン	1人	合計：31ヶ国	195人

※博士研究員、リサーチアシスタント、協力研究員、研究支援者を含む

【 学術交流について 】

○ 日立、タイ・マヒドン大学とヘルスケア分野における連携の合意

平成 25 年 7 月 17 日、順天堂大学は株式会社日立製作所、タイ・マヒドン大学と医療人材及び医療技術交流の活性化を目的としたヘルスケア分野における連携に関する覚書き (MOU) に調印しました。今後、3 者間のグローバルな産学連携により、「先端医療技術研究」、「医療人材育成」および「病院運営の効率化」に関する情報交換を進めていくとともに、アジアをはじめ世界の医療レベルの向上に貢献していくことが期待されています。



株式会社日立製作所・タイ・マヒドン大学との調印式の様子

○ 第 4 回アジア太平洋メディカルフォーラム

平成 25 年 11 月 20 日、第 4 回アジア太平洋メディカルフォーラムが開催されました。まず「大腸癌の外科治療」というテーマで下部消化器外科学坂本一博教授による学術講演が行われました。続いて「海外実習を考える-国際化する医学・医療における意義」というテーマで、山高篤行教授、大塚宜一先任准教授、天野浩文准教授、建部一夫准教授、長澤有祐研修医によるパネルディスカッションが開催されました。



第 4 回アジア太平洋メディカルフォーラム

18. 当期事業の主な概要及び施設設備の整備状況

【法人・大学】

本郷エコキャンパス・エコホスピタル再編事業

(1) B棟建設

旧5号館跡に建設を進めてきました地下3階、地上21階の新病棟（B棟高層棟）は、平成25年12月27日に竣工しました。移転計画に基づき、2月1日から3月16日にかけて2号館、3号館の5・6階病棟の移転が無事行われました。B棟は、本学と早稲田大学及び清水建設による共同研究により、火災時の安全・確実な避難のため、非常用エレベーターを避難誘導に使用できる『高層病棟避難安全システム』が国内で初めて適用されました。

(2) 上空通路建設

1号館とB棟を結ぶ順天堂専用の上空通路が平成25年3月に完成しました。

(3) D棟建設

平成25年2月に着工したD棟（旧4号館を増築）は、平成26年5月の完成に向けて順調に工事が進行しています。

(4) C棟建設

旧3号館の跡地に建設するC棟（外来棟）の設計及び施工会社の選考を行いました。また同時に旧3号館の診療機能を移転するための工事を行っています。

(5) 新教職員寮建設

旧湯島看護師寮から176室の収容能力を持つ新しい教職員寮に建て替える工事を平成27年7月の完成に向けて進めています。

(6) センチュリータワー改修工事

センチュリータワーの改修を行い、法人会議室等の本部機能が高層階へ移転しました。

(7) 日本医学教育歴史館整備工事

第28回日本医学会総会で主催した企画展（国立科学博物館）をセンチュリータワー17階の北側に常設し、日本の医学教育の歴史を展示する施設を整備しました。

(8) 新研究棟建設

旧耐震建築の7・8号館を新研究棟に建て替えるための基本設計を担当する会社を決定し、検討を進めています。

(9) 不動産の取得

将来のキャンパス整備に必要な不動産の取得を行いました。（詳細はP.30をご参照下さい。）

学校法人順天堂「AA」の格付けを維持

我が国最大の格付機関である株式会社格付投資情報センター（R&I）による格付けにおいて、本法人は「AA（ダブルAフラット）」の格付けを維持しました。本法人の医療機関としての強い競争力が評価され、今後の方向性も「安定的」とされました。本法人は、平成19年8月に初めて格付けを取得してから継続して「AA」を維持しています。

日本国債の格付けが引き下げになる等、最上位である「AAA」を有する国内の機関・企業等がない状況で、順天堂は極めて高い格付けを有しています。

2014年01月30日

【格付維持】**順天堂**

発行体格付： AA [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

日本で最古の西洋医学塾を発祥とする学校法人で、医学部をはじめとした4学部のほか、6つの病院を運営している。病院は立地に恵まれているうえ、患者本位の医療を重視する姿勢が評価されて競争力がある。年間1200億円を超える医療収入は、国公立・私立を問わず大学としては最大である。

順天堂は帰属収入のおよそ8割を医療収入が占めているが、このような学校法人の信用力を評価するに当たって、R&Iでは医療機関としての評価に重点を置く。医療機関は一般的な総合大学に比べると産業リスクが大きい。大学病院は法人内に人材輩出源としての医学部を持っており、一般的な病院と比べて優位な位置付けにある。

順天堂大学はスポーツ健康科学部の学費を値下げした効果もあって、2013年度の志願者数は1割以上増加した。静岡県保健看護学部も広報を強化して着々と志願者を増やしている。2015年度には、創立175周年記念事業の一環として国際教養学部（仮称）を本郷キャンパスに設置する構想がある。異文化コミュニケーションコースのほか、グローバルヘルスコースを設置して医学系・スポーツ科学系に強い大学としての特色を打ち出す。国際系の学部は多くの有力大学も設置しており競合が予想されるが、順天堂ブランドに加えて都心部の本郷キャンパスという有利な条件でもあり、今後の展開を見守る。

2000年代に入ってから収支や財務状況の改善は、小川秀興理事長が主導した全学的な業務改善組織である学長室プロジェクト（現・大学運営連絡協議会）の成果でもある。2012年度の帰属収支差額は198億円、帰属収支差額比率は14%近くと極めて良好である。2013年に迎えた創立175周年の記念事業として、順天堂医院の再編を進めている。強いキャッシュフロー創出力を背景に手元資金で賄う方針を打ち出しており、財務構成が悪化する懸念は小さい。格付の方向性は安定的。

【格付対象】

発行者：順天堂

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	AA (維持)	安定的

国際教養学部の開設に向けて

平成27年4月に本学5番目の学部である国際教養学部の開設に向け準備をしております。英語を中心とした高いコミュニケーション能力とリベラルアーツを身につけ、医療・医学・健康などの各分野において国際社会で活躍できるグローバル市民の養成を目指します。

公益財団法人佐々木研究所と連携協定を締結

本法人と公益財団法人佐々木研究所は、患者中心の医療の理念に基づき、相互補完的、且つ質の高い医療連携及び研究連携体制を確立することを目的に平成25年12月に本法人内にて連携協定を締結しました。

国際的評価 “アジアを代表する 100 大学” にランクイン

英高等教育情報誌タイムズ・ハイヤー・エデュケーション (The Times Higher Education) が発表したアジア大学ランキング 2013 において、本学は第 60 位となりました。このランキングは、トムソン・ロイターにより評価され、世界大学ランキングと同じ評価方法に基づき「教育」「国際性」「産学連携収入」「研究」「論文引用」の 5 項目をそれぞれ評価し、その総合点により算出されたポイントによりランキングされます。日本の大学は東京大学など 22 校がランクインされ、本学は 22 校の中では 14 番目となっており、その中で私立大学は慶應義塾大学 (53 位)、早稲田大学 (57 位)、順天堂大学 (60 位) の 3 大学のみがランキングされます。

今後は、国際的にも評価される医学部をコアとする健康総合大学院大学として「国際化」と「教育力」「研究力」「臨床力」などを更に強化・充実すると共に、諸外国から本学で学ぶことを望む学生・研究医・大学院生・研究者増加に向けて、日本人には「TOEFL」

「IELTS」をコアとする「英語」を徹底的に強化し、海外からの留学生に対しては「日本語と日本文化・教養」などの教育を更に重視していきます。

英タイムズ・ハイヤー・エデュケーション「アジア大学ランキング：TOP100」

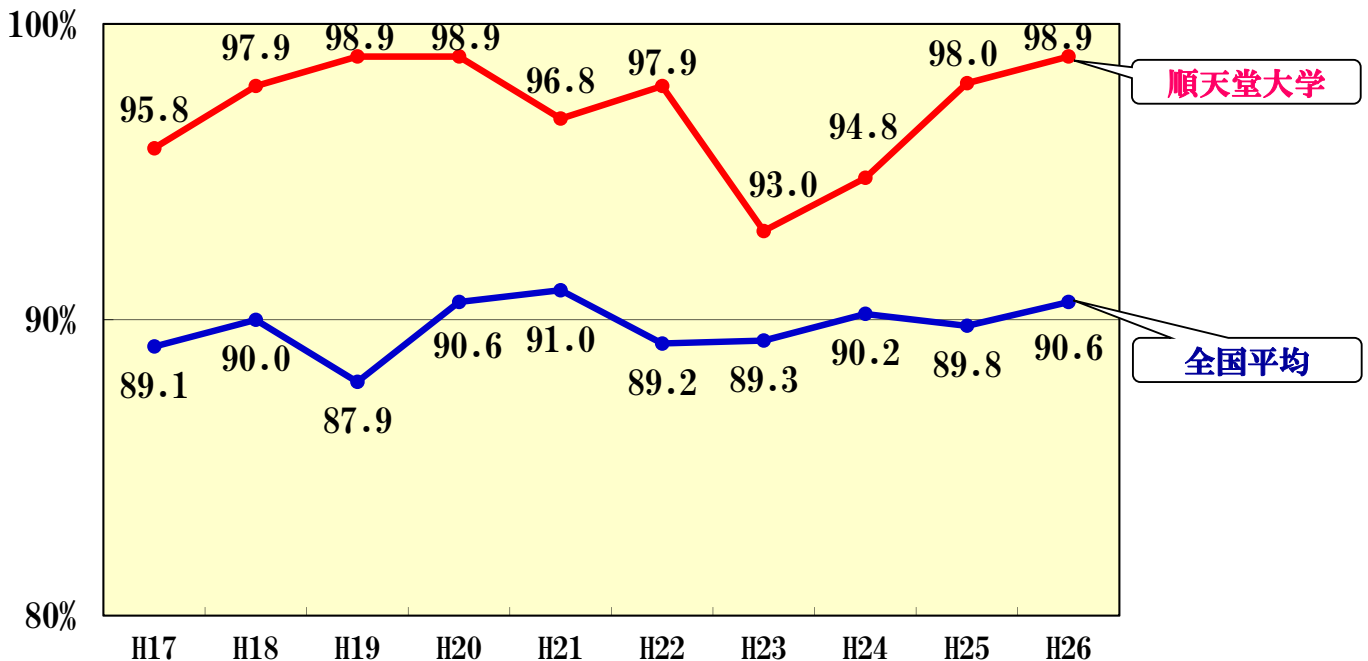
順位	区分	大学名
1	国	東京大学
2	国	シンガポール国立大学
3	公	香港大学
4	国	北京大学
5	私	浦項工科大学校
6	国	清華大学
7	国	京都大学
8	国	ソウル大学
9	公	香港科技大学
10	国	K A I S T

※10位以下は日本の大学のみ表示

13	国	東京工業大学
15	国	東北大学
17	国	大阪大学
26	国	名古屋大学
36	公	首都大学東京
39	国	東京医科大学
42	国	筑波大学
44	国	北海道大学
48	国	九州大学
53	私	慶應義塾大学
57	私	早稲田大学
60	私	順天堂大学
67	国	広島大学
69	公	大阪市立大学
73	国	神戸大学
75	国	千葉大学
81	国	東京農工大学
85	国	岡山大学
96	国	金沢大学
96	国	横浜国立大学

【本郷・お茶の水キャンパス (大学院医学研究科・医学部)】

医師国家試験合格率推移



過去 5年間平均 → 第 3 位 / 80 校 (国公立大)
 過去 10年間平均 → 第 2 位 / 80 校 (")

国際臨床医・研究医枠入学試験の実施

平成 26 年度入学試験より、国際社会で幅広く活躍する医師を目指す日本人（帰国子女）及び外国人を対象とした「医学部国際臨床医・研究医枠入学試験」を実施しました。

医学研究科医科学専攻（修士課程）開設

医学・医療の基本的な知識と研究能力を礎として、創造的で幅広い視野を持ち、生涯にわたって医科学と向き合う姿勢を持ち続け、「仁」の心を兼ね備えた“志高き医学・医療の研究者・高度専門職業人”を国際的レベルで人材育成するため、平成 25 年度から医学研究科医科学専攻（修士課程）を開設しました。

連携大学院協定の締結

平成 24 年度から開始している国立がん研究センター（最先端がん臨床研究コース）との連携大学院制度に加え、平成 25 年 8 月に国立国際医療研究センター及び国立病院機構相模原病院と連携大学院協定を締結しました。高度専門医療研究コース（国立国際医療研究センター）及びアレルギー・臨床免疫研究コース（国立病院機構相模原病院）として、平成 26 年度から開設する準備を進めています。

教育研究施設・設備の充実・文部科学省採択事業

- ・平成 25 年度文部科学省「科学研究費補助金」の採択件数・配分額は私立大学 557 校中第 6 位となりました。今後も全学部が協力連携して、教育・研究活動を推進し、科学研究費補助金の申請・採択数の向上に努めます。
- ・文部科学省「私立大学等研究設備整備費等補助金」に採択され、「CE-Q-TOF メタボローム解析システム」、「561nm レーザーアップグレードキット 5PMT 付 (LSRFortessa 用)」、「生細胞イメージングシステム一式」、「疾患に関わる生体内物質の分子間相互作用解析装置一式」、「経皮酸素ガス分圧測定装置一式」、「小動物用超音波高解像度イメージングシステム」、「画像解析システム」を導入しました。
- ・平成 24 年度に採択された文部科学省「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」が 7 大学（順天堂大学・岩手医科大学・島根大学・鳥取大学・東京理科大学・明治薬科大学・立教大学）の連携のもと 2 年目を迎えました。各種シンポジウムや市民公開講座、ICT 連携講義、FD 研修会、臨床研究研修会など様々な活動が行われました。会議関係では、連携 7 大学運営連絡会、運営委員会を定期的に開催し、10 月には外部評価を受審し、高い評価をいただきました。

先導的がん医療開発研究センター設置

「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」における連携大学及び協力研究施設との研究コーディネートをを行うため、平成 25 年 11 月に臨床・研究の拠点として「先導的がん医療開発研究センター」を設置しました。連携大学間および協力研究施設との医薬理工学連携を更に発展させることにより、創薬・バイオ・機器の開発を目指したがん研究を推進します。

ゲノム・再生医療センター設置

ゲノム医科学と再生医学に関する基礎研究の新知見を医療へと還元させるための探索的臨床研究及び臨床的問題点を解決するため、平成 25 年 11 月にゲノム・再生医療センターを設置するとともに、センターの下部組織としてセル・プロセッシング施設（CPF）を設置しました。また平成 26 年度には、医学研究科医学専攻（博士課程）にゲノム・再生医療学の授業科

目を新たに開講します。

【さくらキャンパス】

- ・文部科学省「私立大学等研究設備整備費等補助金」及び「私立学校施設整備費補助金」の採択により「BODPOD 体脂肪測定装置」、「マルチメディア講義のデジタルハイビジョン化及び講義自動収録配信システム」、「さくらキャンパス ICT 教育基盤整備事業」、「さくらキャンパス物理実習・マルチメディア教室整備事業」などの教育・ICT の施設設備の整備・拡充を行いました。
- ・サッカー場及びラグビー場の人工芝の敷設工事を行いました（サッカー場は更新、ラグビー場は新規敷設）。クラブ活動や授業の充実をはじめ、当該施設を活用しての地域連携活動の推進も期待できます。
- ・スポーツ健康科学部の同窓会である啓友会より、キャンパス内に 2 階建ての「啓友会館」の寄贈を受けました。1 階は売店・ホール、2 階はコモンスペースとして多目的な用途での利用が期待されます。
- ・就職状況について、教員採用試験では現役学生 20 名、既卒者及び補欠合格者、私立専任教員を含めると 108 名の合格者を輩出しました。また企業就職希望者については、98.6%の学生が内定を受けました。

【浦安キャンパス】

- ・保健・医療・福祉サービスを統合した高度な看護実践力をもち、教育的調整能力をあわせもつ指導的役割を果たす人材の育成及び医療看護学に関わる教育者・研究者の育成を目的とし、高度教育研究機関としての組織体制を整備するため、大学院医療看護学研究科看護学専攻課程変更の認可申請を行い、平成 25 年 10 月 31 日文部科学省より博士後期課程の設置認可を受けました。平成 26 年 4 月より開設します。
- ・国家試験結果は合格率が看護師 99.0%、保健師 94.8%、助産師 100%となり全国平均を大きく上回りました。
- ・平成 25 年 9 月 26 日に医療看護学部第 15 回国際交流講演会が開催され、「転倒外傷からの患者保護の進歩」をテーマにフロリダ州第 8 退役軍人統合医療サービス・ネットワーク患者安全センター研究所副所長のパトリア・クイグリー博士が講演されました。
- ・平成 26 年 2 月 3 日に医療看護学部第 16 回国際交流講演会が開催され、「イギリスの看護教育におけるメンターシップ」をテーマに英国デモントフォート大学主任講師国際交流担当主任のキャロル・グリーンウェイ氏が講演されました。
- ・文部科学省「私立学校施設整備費補助金」に採択され「ICT を用いたバーチャル・リアリティー空間を共有する看護コミュニケーションシステム」を導入しました。バーチャル・リアリティー空間を ICT 環境上に作成し、遠隔会議システムと組み合わせ、「グループ演習システム」や「離れた臨地実習地を遠隔会議システムで結び、リアルタイムに討議・共有化できるシステム」などの環境整備を行ないました。また学内看護演習では、臨地実習では体験出来ない様々な状況設定予測型の机上演習が行えるようになりました。臨地実習においても、タブレット端末やスマートフォンを介した遠隔会議システムを利用し、看護体験や問題点の共有化が可能となりました。

【三島キャンパス】

- ・平成 22 年 4 月に入学した第 1 回生 114 名卒業し、はじめての看護師・保健師国家試験に臨み、合格率は看護師 100%、保健師 94.7%という成果をあげました。
- ・三島市と文化や医療、教育、学術など様々な面で相互に協力し、地域の活性化、産業の発展を目的として平成 26 年 1 月に三島市役所本館にて連携協働協定を締結しました。

【順天堂医院】

- ・平成 25 年 5 月 28 日に da Vinci（手術支援ロボット）を使用した初めての手術が実施されました。
- ・キャンパス・ホスピタル再編事業計画の 1 号館再整備計画に基づき、平成 25 年 7 月に 1 階薬剤部調剤室が地下 1 階供給倉庫跡に移転し、平成 26 年 2 月に調剤室跡地に 1A 外来を移転しました。1A 外来の跡地は、3 号館予約診察室が移転予定となっています。
- ・平成 25 年 7 月に脳神経外科を中心に、脳神経内科、小児科・思春期科、メンタルクリニックによる「てんかんセンター」を設立しました。組織横断的な症例検討会を開催し、他附属病院との合同検討会を行うなどし、専門医療の充実を図っていきます。
- ・財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価の訪問審査を 6 月 5 日、6 日に受審し、9 月 3 日付で私立医科大学附属病院の中では初となる機能評価項目別 3rdG:Ver. 1.0〔一般病院・精神病院〕の認定を受けました。
- ・平成 25 年 9 月 1 日付で、東京都がん推進対策計画による「東京都小児がん診療病院」として認定を受けました。
- ・紹介状を持参する患者の利便性、初診手続待ち時間の解消を目的に、平成 25 年 10 月 1 日に「初診事前予約センター」を開設しました。
- ・平成 26 年 1 月に診療科として「腫瘍内科」「緩和ケア科」を新設しました。緩和ケア外来は、従前より専門外来をがん治療センター内で開設しており、今回新たに腫瘍内科外来をスタートしました。
- ・平成 26 年 2 月に電子カルテ等の診療データを抽出・分析した QI（医療の質を評価する指標）の作成・支援及び病院機能評価項目や経営指標の継続的管理等を行う専門部署として「病院機能管理室」を設置しました。また「病院機能管理室」に加え、「診療録管理室」、「医療情報管理室」の 3 室の業務を効率的かつ横断的に統括・管理するための組織として、院長直下に「医療情報センター」を併せて設置しました。
- ・平成 26 年 2 月 20 日 B 棟病棟において、災害時に非常用エレベーターの利用を認める東京都消防庁新基準適用第 1 号施設として、東京消防庁、本郷消防署との合同防災訓練を実施しました。

【静岡病院】

- ・静岡県「3 次医療圏再生推進事業費補助金」に採択され、脳神経外科の顕微鏡を整備し、救急医療機関として設備の充実を図りました。
- ・静岡県「在宅医療・災害医療推進事業補助金」に採択され、災害派遣用車両を整備し、災害拠点病院及び災害派遣医療チーム「静岡 DMAT 指定病院」として、緊急時の出動要請に対する強化を図りました。
- ・平成 25 年 7 月にマンモグラフィ専用の撮影室を開設し、検査体制の充実を図りました。
- ・平成 26 年 3 月に MRI（1.5 テスラ）を更新し、的確な治療指針が得られるよう設備の充実を図りました。

【浦安病院】

- ・平成 25 年 9 月 9 日よりラピッドレスポンスカーを導入し、高度な救命処置や医療行為が迅速に行えるようになり、近隣住民の救命率の向上が図れるようになりました。
- ・平成 25 年 11 月 1 日よりこども救急センターにて近隣の診療所等の医師と連携・協力し夜間休日に診療を行う「地域連携小児夜間・休日診療料 2」の施設基準申請を行い、小児救急の充実を図りました。
- ・3号館増築工事に伴い、平成 26 年 3 月 1 日より病院敷地内及び京葉線高架下の教職員駐車場を移転し、病院近隣の駐車場を患者専用とすることでサービスの向上を図りました。

【順天堂越谷病院】

- ・医事電算システムの入替えを行い、診療報酬改正の対応を行います。
- ・埼玉県東部地域メディカルコントロール協議会に加盟し、精神疾患患者の身体合併症患者の救急受入に協力する協定を取り交わすことになりました。

【順天堂東京江東高齢者医療センター】

- ・平成 25 年 8 月 1 日より東京都受託事業である「認知症早期発見・早期診断推進事業」を開始しました。区が配置する認知症コーディネーターと認知症疾患医療センターである当センターの認知症アウトリーチチームが協働して、認知症の疑いのある人を把握・訪問し、状態に応じて適切な医療・介護サービスに結びつける等の取組みを進めています。
- ・平成 25 年 9 月 1 日より「睡眠時無呼吸症候群に対する検査実施（PSG 検査）」について、平日の検査に加え、土・日曜日の検査を開始しました。
- ・平成 26 年 1 月 4 日より医療サービス支援センター・呼吸器外科を新設しました。高齢者のニーズに十分に答えられるよう、よりきめ細やかな対応を行っていきます。
- ・平成 25 年 12 月 2 日より「医療用透視装置（X 線 TV 室 1）の更新を実施しました。画質が向上し、長尺撮影が可能となりました。

【順天堂練馬病院】

- ・従来の PET 専用機に替えて最新型 GE 製 PET-CT を導入し、平成 25 年 6 月より稼働を開始しました。16 列マルチスライス CT により診断能力が向上し、1 日最大 9 名迄の受診が可能となりました。
- ・当院の増床計画に関して、練馬区長が平成 25 年 9 月 6 日開催の練馬区議会にて正式に公表しました。土地交換を伴う中学校施設の移設を行う計画で、平成 31 年度に新病棟が完成する予定です。
- ・災害拠点病院の要件として DMAT の保有が平成 26 年度より必要となり、平成 25 年 9 月 11 日から 14 日にかけて厚生労働省主催の平成 25 年度災害派遣医療チーム研修に医師 2 名、看護師 2 名、事務 1 名を派遣しました。

19. 大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画について

順天堂創立 175 周年記念事業の一環として、大学キャンパス・ホスピタル再編事業計画の概要と進捗は以下のとおりです。

(1) 本郷・お茶の水キャンパス

① B 棟高層棟新築工事

平成 24 年 2 月に着工した地上 21 階、地下 3 階の新病棟（B 棟高層棟）は、約 2 年の工期を経て、昨年 12 月 27 日に無事竣工いたしました。

2 号館、3 号館の病棟の移転が完了し新病棟として稼働を始めました。

新病棟は、100 年間大規模な修繕を行わない長寿命建築、建築環境評価の最高 S ランク取得、米国の建築環境評価基準 L E E D のゴールド取得予定、高層の病棟避難における新しいシステムの導入（東京消防庁が制定した高層階災害時の避難に非常用エレベーターの利用を認める新基準の第一号の認可建築）、などいくつかの優れた特徴が挙げられます。

引き続き、Ⅱ期工事を行い平成 28 年 3 月に建物全体が竣工する予定です。



B 棟外観



4 床室



手術室

② D 棟新築工事

現 4 号館に増築する形で完成する地上 9 階、地下 1 階の建物で昨年 2 月に着工しました。工事は順調に進み、平成 26 年 5 月末に完成いたします。

③ C 棟新築工事

3 号館の跡に建設する地上 7 階、地下 2 階の建物で、1 号館の外来機能を拡充させます。実施設計が完了し、施工会社の選考を行いました。



D 棟完成予想図



C 棟完成予想図

④ 新研究棟建設

旧耐震の建築基準で建設されている 7 号館、8 号館を建て替え新研究棟を建設する計画に

着手し、現在、設計会社により基本設計が進められています。

⑤ 上空通路建設工事

B棟と1号館、C棟を接続する専用の上空通路が平成26年3月に完成し稼働しました。

⑥ センチュリータワー改修工事

法人本部を4号館からセンチュリータワーへ移転させるため、高層階の改修工事を行いました。17階には、第28回日本医学会総会の企画展として国立科学博物館で開催された「医学教育史展～歴史でみる・日本の医師のつくり方～」の内容を保存する常設の展示施設として日本医学教育歴史館の施設整備工事を行いました。



上空通路完成図



日本医学教育歴史館

⑦ 湯島寮新築工事（レスポワール湯島）

昨年8月、旧建物の解体工事に着手しました。

地上12階、地下1階、176室の建物ですが、平成27年7月竣工予定です。

⑧ 土地・建物不動産取得

キャンパスに近接する複数のビルをサテライトとして購入し活用を図りました。



湯島寮完成予想図

(2) 浦安病院

132床の増床許可を得て、免震構造の地上9階、地下2階の新病棟（3号館）建設計画が進められています。施工会社の選考を終え、工事着工の準備が進められています。

その他、病院に近接する土地・建物2件の取得を行いました。

(3) 順天堂東京江東高齢者医療センター

一般病床56床の増床許可を得て、既存調査・情報収集・各種検討を進めていきます。

(4) 練馬病院

地域医療の充実を目的に、病院の増床、医療機能の拡充等のための病院整備事業が進められています。

(5) さくらキャンパス

キャンパスと地続きの農地約2,000坪を取得し、農地転用の手続き後、駐車場として施設整備を行い、他にも土地・建物を1件取得しました。

また、サッカー場、ラグビー場の人工芝工事、水泳テントプールの改修工事等が行われました。

20. 日本医学教育歴史館開館披露及び順天堂創立 175 周年記念式典について

平成 26 年 4 月 10 日に天皇皇后両陛下のご親臨を仰ぎ、有山登記念館講堂において「日本医学教育歴史館開館披露及び順天堂創立 175 周年記念式典」を開催しました。

この「日本医学教育歴史館」は、第 28 回日本医学会総会〔会頭：矢崎義雄国立病院機構理事長、副会頭：小川秀興学校法人順天堂理事長他、準備委員長：永井良三東京大学教授（当時の役職を記載）〕における企画展として平成 23 年に国立科学博物館で開催された「医学教育史展～歴史でみる・日本の医師のつくり方～」の内容を保存しさらに充実させ、日本の医学教育の歴史を資料等により検証できる本邦初の常設展示施設となります。

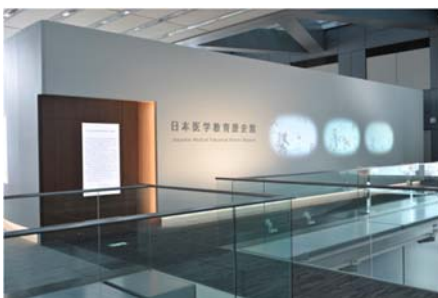
式典では、天皇皇后両陛下ご臨席のなか、主催者を代表して小川秀興理事長・医学教育振興財団理事長が式辞を述べました。また、ご来賓として森喜朗元内閣総理大臣・東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長、高久史麿日本医学会会長・医学教育振興財団前理事長、河野洋平元衆議院議長・日本陸上競技連盟名誉会長、横倉義武日本医師会会長、野依良治理学化学研究所理事長・ノーベル化学賞受賞者など、各界を代表する多数の方々にお越しいただき、森喜朗元内閣総理大臣、高久史麿日本医学会会長から祝辞をいただきました。順天堂 175 年の歴史の中で、初めて天皇皇后両陛下のお出ましを頂き式典を挙行できたことは非常に晴々しいことでした。

式典終了後、天皇皇后両陛下は小川秀興理事長とともに会場を後にされ、日本医学教育歴史館をご視察されました。両陛下は小川秀興理事長と酒井シヅ医史学研究室特任教授・日本医史学会前理事長とのご説明により、歴史館にて解体新書など約 120 点におよぶ西洋医学教育の歴史を伝える展示をご覧になりました。

また、午後からは有山登記念館講堂において、独立行政法人理化学研究所の野依良治理事長に「時代に生きる科学技術」と題してご講演いただきました。講演会終了後には引き続き祝賀会を開催し、ご出席いただいた方々には和やかに歓談していただきました。



日本医学教育歴史館開館披露及び順天堂創立 175 周年記念式典



日本医学教育歴史館（外観）



歴史館の展示をご覧になれる天皇皇后両陛下



センチュリータワーで開催された祝賀会

21. 平成 25 年度事業の収支及び財務状況の概要

当期の事業収支及び財務状況について、その概況を報告します。なお、金額は百万円未満を端数処理(四捨五入)して表記していますので、合計と一致しないことがあります。

(1) 資金収支計算

(収入の部)

(単位：百万円)

科 目	補正後予算	決 算	差 異
学 生 納 付 金 収 入	6,901	6,891	10
手 数 料 収 入	451	445	6
寄 付 金 収 入	2,336	2,832	△ 496
補 助 金 収 入	6,870	7,234	△ 364
資 産 運 用 収 入	824	909	△ 85
資 産 売 却 収 入	22	33	△ 11
事 業 収 入	1,971	2,393	△ 422
医 療 収 入	124,196	124,859	△ 663
雑 収 入	1,314	1,576	△ 262
借 入 金 等 収 入	1,000	1,030	△ 30
前 受 金 収 入	1,592	1,631	△ 39
そ の 他 の 収 入	21,078	21,195	△ 117
資 金 調 整 勘 定	△ 23,065	△ 23,731	666
当年度資金収入合計	145,488	147,298	△ 1,810
前年度繰越支払資金	32,538	32,538	
収 入 の 部 合 計	178,026	179,836	△ 1,810

資金収入は、補正後予算（以下予算という）と比較し、約 18 億円上回りました。主な要因としては、附属病院の医療収入全体で予算を約 7 億円上回ったこと、寄付金収入が約 5 億円上回ったことによります。

(支出の部)

(単位：百万円)

科 目	補正後予算	決 算	差 異
人 件 費 支 出	51,046	50,977	69
教 育 研 究 経 費 支 出	18,855	18,545	310
医 療 経 費 支 出	46,385	47,260	△ 875
管 理 経 費 支 出	4,657	4,243	414
借入金等利息支出	36	30	6
借入金等返済支出	296	306	△ 10
施 設 関 係 支 出	13,040	12,247	793
設 備 関 係 支 出	7,995	7,699	296
資 産 運 用 支 出	9,900	12,484	△ 2,584
そ の 他 の 支 出	9,842	10,091	△ 249
予 備 費	2,141	0	2,141
資 金 支 出 調 整 勘 定	△ 9,038	△ 11,164	2,126
当年度資金支出合計	155,154	152,717	2,437
次年度繰越支払資金	22,872	27,119	△ 4,247
支 出 の 部 合 計	178,026	179,836	△ 1,810

資金支出は、予算と比較し約 24 億円下回りました。主な要因としては、再編事業の実施に備え予備費を計上していましたが、予算内で事業を実施できたことによります。また資産運用支出は予算を上回っていますが、期末に現預金の一部を主に有価証券等に振替えたことによります。

当年度資金収支差額	△ 9,666	△ 5,419	△ 4,247
-----------	---------	---------	---------

当年度資金収支差額は、差引約△ 54 億円となり、次年度繰越支払資金は約 271 億円となりました。

(2) 消費収支計算

(収入の部)

(単位：百万円)

科 目	H25 年度決算	H24 年度決算	差 異
学生納付金	6,891	6,754	137
手数料	445	457	△ 12
寄付金	3,061	2,513	548
補助金	7,234	7,368	△ 134
資産運用収入	909	950	△ 41
事業収入	2,393	2,294	99
医療収入	124,859	120,342	4,517
雑収入	1,670	1,482	188
その他	0	0	0
帰属収入合計	147,464	142,160	5,304
基本金組入額合計	△ 15,853	△ 11,811	△ 4,042
消費収入の部合計	131,611	130,349	1,262

帰属収入は、約 1,475 億円となり前年度と比較し約 53 億円増加しました。寄付金の増加は主に 175 周年記念募金によるものです。医療収入は附属病院の診療体制を充実させたこと等により約 45 億円増加しました。本院 B 棟 I 期竣工などにより基本金組入額は約 159 億円となり前年度より約 40 億円増加しています。

(支出の部)

(単位：百万円)

科 目	H25 年度決算	H24 年度決算	差 異
人 件 費	51,556	49,897	1,659
(退職給与引当金繰入額)	(2,604)	(2,591)	13
教育研究経費	25,377	24,199	1,178
(減価償却額)	(6,832)	(6,554)	278
医療経費	46,858	43,728	3,130
管理経費	4,650	4,386	264
(減価償却額)	(405)	(369)	36
借入金等利息	30	31	△ 1
資産処分差額	254	98	156
徴収不能額等	83	66	17
消費支出の部	128,807	122,406	6,401

消費支出は、約 1,288 億円となり、前年度と比較し約 64 億円増加しました。これは再編事業の推進及び教育・研究・診療体制の更なる充実を図ったため、人件費、教育研究経費、医療経費等が増加したことなどによるものです。

帰属収支差額	18,657	19,754	△ 1,097
当年度消費収入超過額	2,804	7,943	△ 5,139
前年度繰越消費支出超過額	46,848	54,791	
翌年度繰越消費支出超過額	44,045	46,848	

帰属収支差額は、約 187 億円となりました。再編事業の本格化により基本金の組入額が増加しており、消費収支差額は約 28 億円となりました。

(3) 貸借対照表

(資産の部)

(単位：百万円)

科 目	H25 年度末	H24 年度末	増 減
固 定 資 産	163,961	141,800	22,161
有 形 固 定 資 産	131,438	118,777	12,661
土 地	42,640	41,307	1,333
建 物	59,500	49,773	9,727
その他の有形固定資産	29,298	27,697	1,601
その他の固定資産	32,523	23,023	9,500
流 動 資 産	83,327	83,917	△590
現 金 預 金	27,119	32,538	△5,419
その他の流動資産	56,208	51,379	4,829
資 産 の 部 合 計	247,288	225,718	21,570

固定資産は、キャンパス及び病院附属施設を拡充するため、建替え工事の実施および不動産を取得したことにより増加しました。

流動資産のうち現預金は固定資産の取得及び短期有価証券への振替により減少しております。

総資産は前年度より約216億円増加して、約2,473億円となりました。

(負債の部)

(単位：百万円)

科 目	H25 年度末	H24 年度末	増 減
固 定 負 債	29,488	27,941	1,547
長 期 借 入 金	636	927	△ 291
学 校 債	6,320	5,300	1,020
その他の固定負債	22,532	21,714	818
流 動 負 債	14,629	13,263	1,366
短 期 借 入 金	291	291	0
短期学校債	0	5	△ 5
その他の流動負債	14,338	12,967	1,371
負 債 の 部 合 計	44,118	41,204	2,914

負債は、約441億円と前年度対比で約29億円の増加となりました。主な要因は、医療経費および施設設備投資などに伴う期末未払金の増加によります。学校債は約10億円増加していますが、無利子の学校債です。

(基本金の部)

(単位：百万円)

科 目	H25 年度末	H24 年度末	増 減
第 1 号 基 本 金	235,372	219,936	15,436
第 2 号 基 本 金	1,949	1,768	181
第 3 号 基 本 金	500	500	0
第 4 号 基 本 金	9,394	9,158	236
基 本 金 の 部 合 計	247,215	231,362	15,853

(消費収支差額の部)

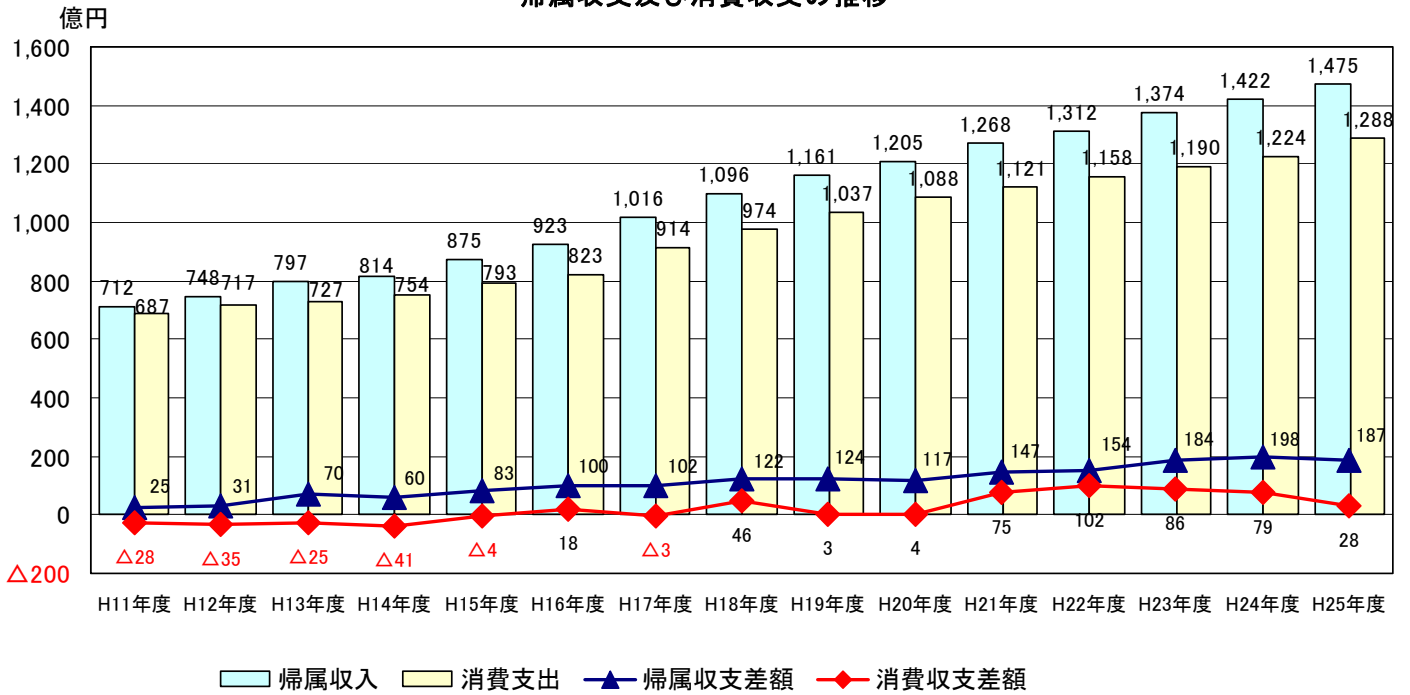
(単位：百万円)

科 目	H25 年度末	H24 年度末	増 減
翌年度繰越消費支出超過額	44,045	46,848	△ 2,803
消費収支差額の部合計	△ 44,045	△ 46,848	2,803
負債の部合計、基本金の部及び消費収支差額の部合計	247,288	225,718	21,570

翌年度繰越消費支出超過額は消費収入超過額分の約28億円改善して、約440億円となりました。

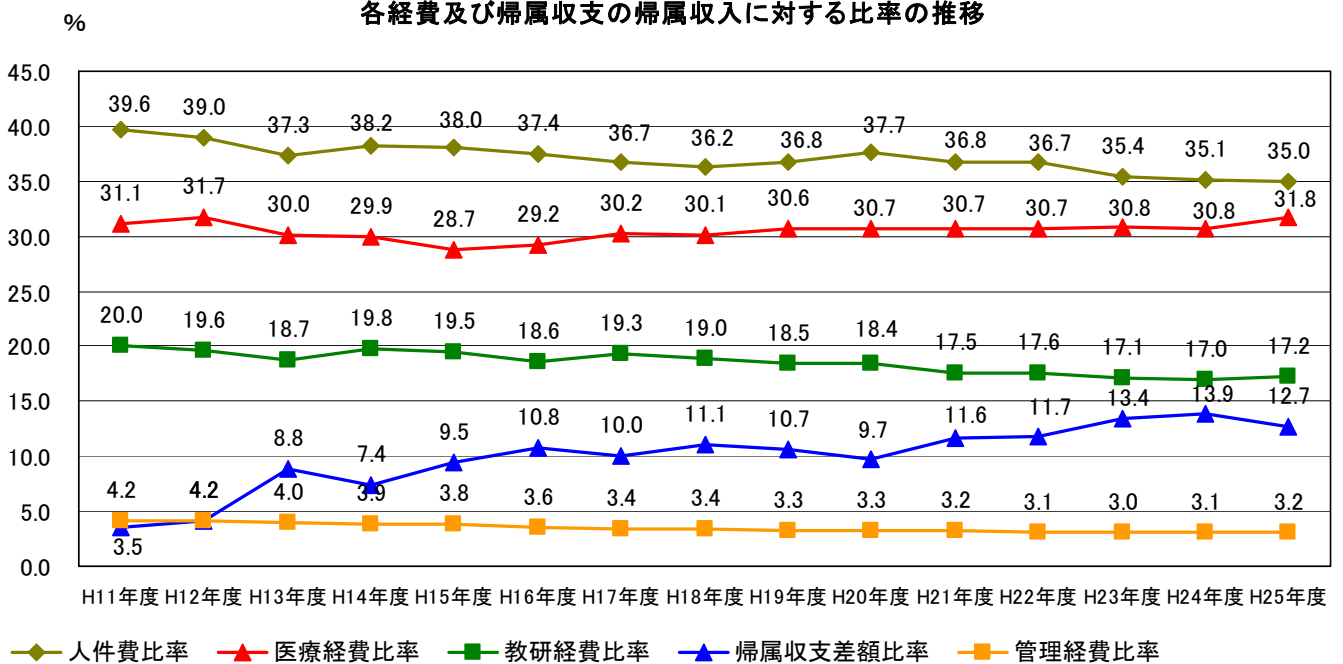
22. 財務状況の推移

帰属収支及び消費収支の推移



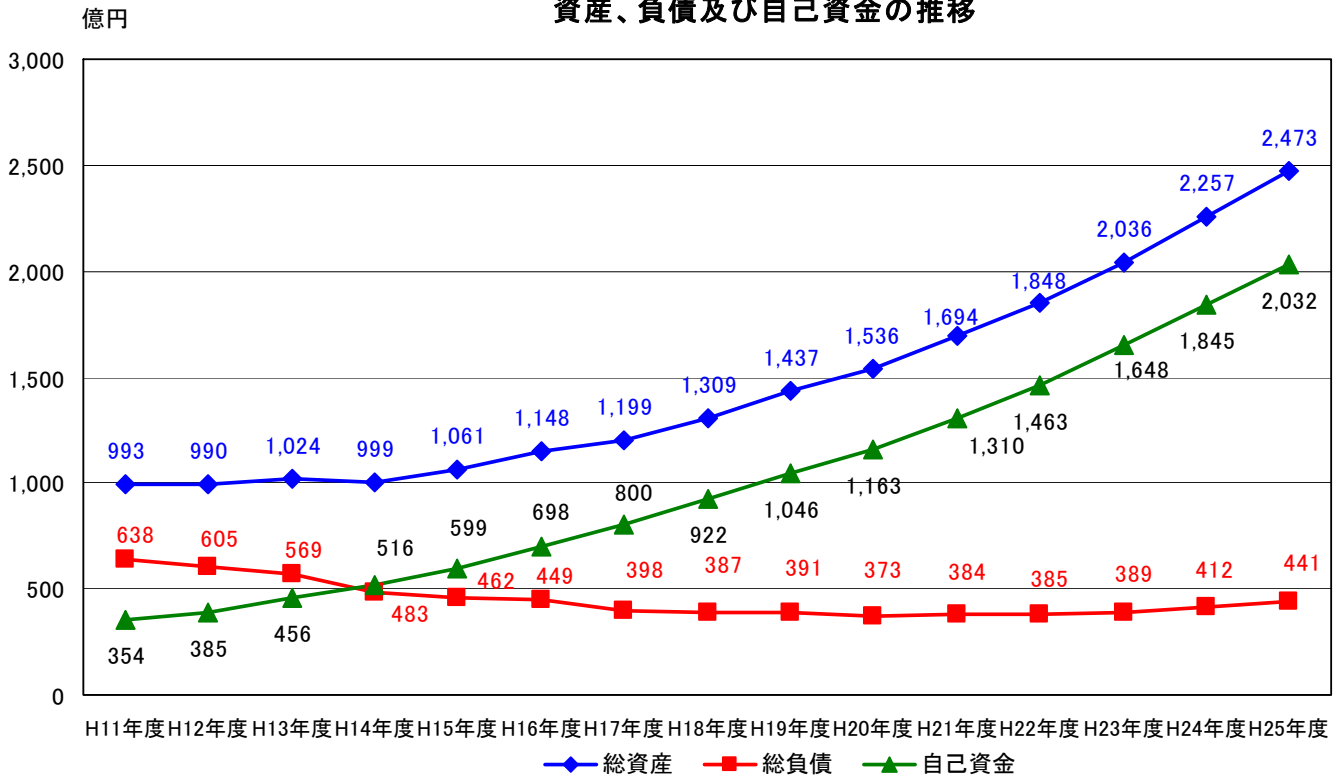
教育・研究・診療の充実を図るため、平成14年度 順天堂東京江東高齢者医療センター開院（平成16年度より自主運営開始）、平成17年度 練馬病院開院（平成18年度よりフル稼働）、平成18年度 静岡病院増床、スポーツ健康医科学研究所竣工、平成19年度はスポーツロジセンター設立、浦安病院救急救命センター設置及び練馬病院3号館建設、平成22年度は静岡県三島市に保健看護学部を開設いたしました。現在、キャンパス・ホスピタル再編事業を進行していますが、帰属収支差額は各種プロジェクトの推進及び外部資金の導入等の効果により収支バランスを崩すことなく推移しております。

各経費及び帰属収支の帰属収入に対する比率の推移



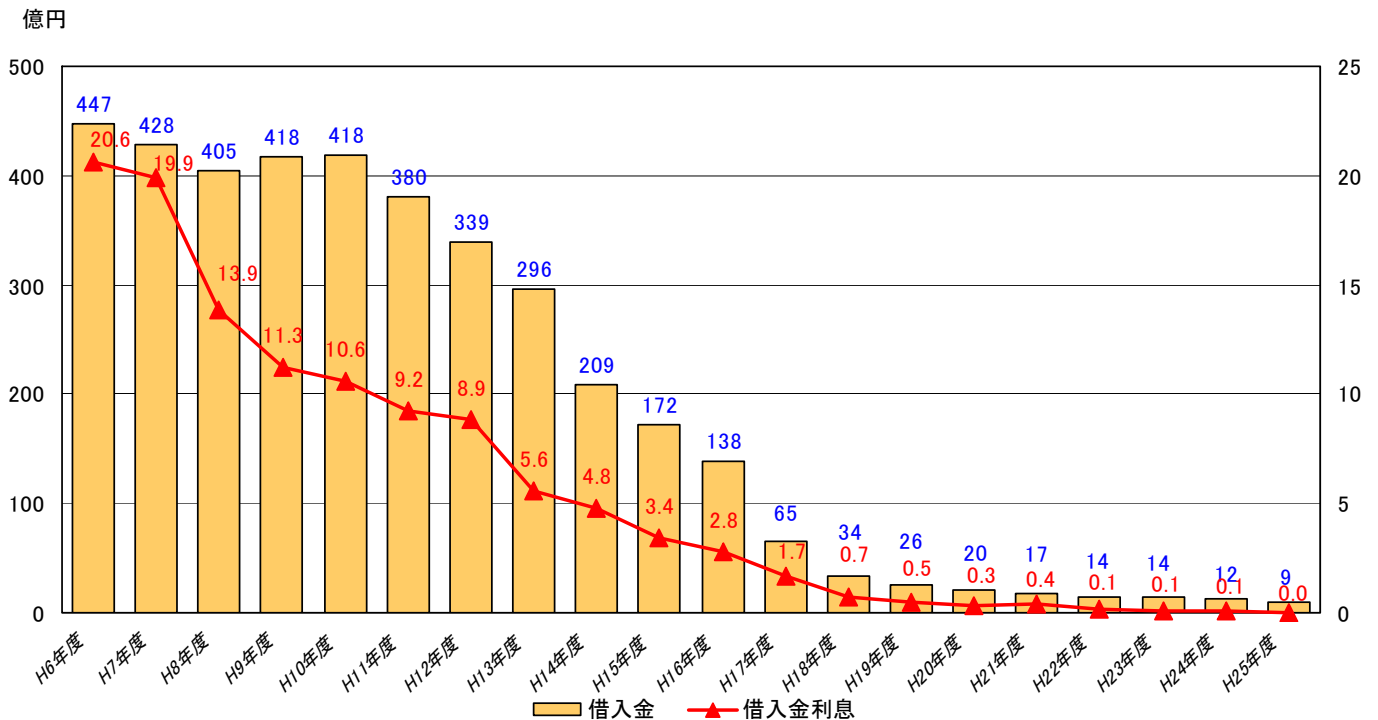
教育・研究・診療の充実に伴い、各経費及び人件費は毎年増加していますが、経費の効率化、外部資金の導入などの効果により収入の増加見合いに収めることができたため、各経費比率（経費の効率化の尺度を表し、各経費/帰属収入により算出する。）とも安定して推移しています。

資産、負債及び自己資金の推移



上記のグラフは資産、負債、自己資金の推移を示しております。平成5年に竣工した順天堂医院本館建設資金の大半を借入金で賄ったため、平成13年度まで負債が自己資金を上回っていました。その後は堅調な帰属収支差額を維持しつつ、有利子負債の返済を前倒しで行い、施設・設備の拡充を自己資金により行ってきました。これらの成果により総負債比率（総負債／総資産）は平成11年度の64.3%から平成25年度には17.8%と、大幅に改善しています。

金融機関等借入金及び同借入金利息の推移



総負債比率改善のため有利子負債の返済を積極的に進めてきました。平成25年度末の金融機関等からの借入残高は約9億円、学校債を合わせた借入総額は約72億円となりました。現預金残高は借入金総額を大幅に上回り、健全な経営を維持しております。



Juntendo , Tokyo , established in 1838 .